

2021 年 6 月分新聞書評



日本ハードボイルド全集<1> 死者だけが血を流す/淋しがりのキング(創元推理文庫 M ん 11-1)

北上 次郎／日下 三蔵／杉江 松恋 編
生島 治郎／北上 次郎／日下 三蔵 著
東京創元社

日本ハードボイルドの歴史を凝縮した全集。1 は、生島治郎の作品を厳選。地方都市の腐敗した選挙戦を冷徹に描く長編「死者だけが血を流す」と、6 つの短編を収録する。大沢在昌による巻末エッセイも掲載。

2021.4./ 582p
978-4-488-40021-7
本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/06/05



アニミズムという希望～講演録琉球大学の五日間～ 新装

山尾 三省、山極 寿一 著
野草社

カミ(神)ないし仏という意識を、これまでになかった新しい地平においても一度とらえ直し、再構築するべき時に私たちは立っている。1999 年 7 月に行われた琉球大学での集中講義の記録をまとめる。

2021.4./ 413p
978-4-7877-2182-2
本体 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2021/06/05



ツボちゃんの話～夫・坪内祐三～

佐久間 文子 著
新潮社

「僕が死んだらさびしいよ?」と口にしていたあの頃。けんかばかりだけど憎めなかった。博覧強記の東京っ子。類まれな同時代史の書き手が急逝して 1 年半。妻が語る 25 年間の記憶。『新潮』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021.5./ 197p
978-4-10-353981-0
本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/06/05、朝日新聞 2021/06/19



混迷の国ベネズエラ潜入記(わたしの旅ブックス 029)

北澤 豊雄 著
産業編集センター

破綻国家と噂される、南米ベネズエラで見たもの...それは絶望か、それとも希望か。三度に渡りベネズエラに潜入した新進気鋭のノンフィクションライターによる、限界ギリギリの冒険紀行。

2021.3./ 328p
978-4-86311-287-2
本体 ¥1,210〔税込〕



産経新聞 2021/06/06

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2021 年 7 月時点での税込み価格です。



ドレミファソラシは虹の七色?～知られざる「共感覚」の世界～(光文社新書 1123)

伊藤 浩介 著
光文社

ドレミファソラシが虹の七色になるという、気鋭の脳科学研究者が発見した共感覚の現象をもとに、音階がなぜ色を持つのか、なぜそれが虹色になるのかを考察する。人間の認知の不思議を探る知的スリルに満ちた一冊。

2021.3./ 244p
978-4-334-04530-2
本体 ¥924〔税込〕



産経新聞 2021/06/06



ツッコミ読み!裏切りの日本昔話

ながたみかこ 著
笠間書院

浦島太郎は復讐ストーリー? 舌切り雀は策略満載の昼ドラ? おなじみの日本昔話 12話を取り上げ、裏読みしたりツッコんだりしながら考察。視点を変えたショートストーリーや、登場人物への人生相談なども掲載する。

2021.3./ 265p
978-4-305-70936-3
本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/06/06



ねこすけくんがねているあいだに...

木田 哲生、伊東 桃代 著
リーブル

おやすみなさいをした後に、ふとんの中でゲームをしているねこすけくん。そこにひつじのネルがあらわれ、ねこすけくんの頭の中に連れて行き…。迷路や探し絵も交え、寝ている間の頭の中の働きをわかりやすく説明した絵本。

2021.4./ 27p
978-4-910310-01-5
本体 ¥1,320〔税込〕



産経新聞 2021/06/06



ルーキー新一のイヤーンイヤーン人生

澤田 隆治 著
つちや書店

育てた芸人たちは、みんな大輪の花を咲かせた。ただ一人を除いて…。お笑い番組をつくり数々の芸人を育ててきたメディアプロデューサーが、一番心踊らされながらも不運が重なり早逝した、ルーキー新一の破天荒な人生を綴る。

2021.5./ 208p
978-4-8069-1746-5
本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/06/06



新・日英同盟と脱中国～新たな希望～

馬淵 睦夫／岡部 伸 著
ワニブックス

コロナ禍で明らかになったグローバリズムの危険な一面、日本のファイブ・アイズ入りを阻む「親中派」という足かせ…。近現代史、インテリジェンスを交え真実の世界の姿を炙り出す。『未来ネット』での対談を基に加筆し書籍化。

2021.5./ 334p
978-4-8470-7055-6
本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/06/06



曲亭の家

西條奈加 著
角川春樹事務所

当代一の人気作家・曲亭(滝沢)馬琴の息子に嫁いでお路。横暴な舅、病持ち・癩癧持ちの夫と姑…。修羅の家で作家の深い業に振り回されながらも、お路は己の道を切り開いていき…。書き下ろし長篇。

2021.4./ 250p
978-4-7584-1373-2
本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/06/06、東京・中日新聞 2021/06/27



もう一度楽しむ能

友枝真也／馬場あき子 著

淡交社

能楽シテ方・友枝真也と、歌人・馬場あき子が、「敦盛」「田村」「黒塚(安達原)」など能35曲に描かれた者について語る。能の演技の裏話や、「実は」という演者の「ひみつ」などが満載。能楽用語と装束の着方の基本も収録。

2021:3./ 247p

978-4-473-04465-5

本体 ¥2,420〔税込〕



産経新聞 2021/06/06、毎日新聞 2021/06/12



ことばは国家を超える～日本語、ウラル・アルタイ語、ツラン主義～(ちくま新書 1568)

田中 克彦 著

筑摩書房

ウラル・アルタイ語族に属する朝鮮語、トルコ語、フィンランド語などは、文の構造ばかりか表現方法、つまりものの感じ方までもが共通している。ウラル・アルタイ説の出現から、ツラン主義の誕生までを解説する言語学入門。

2021:4./ 253p

978-4-480-07388-4

本体 ¥924〔税込〕



産経新聞 2021/06/12、読売新聞 2021/06/13



家老の忠義～大名細川家存続の秘訣～(歴史文化ライブラリー 519)

林 千寿 著

吉川弘文館

戦国の荒波を乗り越え、肥後熊本藩主となった細川家。主君といえども激烈に諫言した筆頭家老松井康之と息子興長は、細川家存続にいかなる影響を与えたのか。主家と藩政の維持・発展に尽くした家老の姿を描く。

2021:3./ 6p,216p

978-4-642-05919-0

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/06/13



江戸のジャーナリスト 葛飾北斎

千野 境子 著

国土社

90歳まで絵筆をとった人気浮世絵師・葛飾北斎は、情報の限られた江戸時代に、広く日本の外からも情報を収集した。「人間・北斎」にスポットライトをあて、その魅力や謎を探り、北斎とは何者なのかを解き明かす。

2021:5./ 207p

978-4-337-18764-1

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/06/13



中国の暴虐(ジェノサイド)～ウイグル、モンゴル、香港、尖閣～

櫻井 よしこ／楊逸／楊海英 著

ワック

国内外でジェノサイドを繰り返す中国共産党。他民族同化を強行する習近平…。満洲出身の芥川賞作家・楊逸と南モンゴル出身の大学教授・楊海英が櫻井よしこと語り合い、共産中国の非道を伝え、日本と日本人へ警鐘を鳴らす。

2021:5./ 237p

978-4-89831-951-2

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/06/13



エディー・ジョーンズわが人生とラグビー

エディー・ジョーンズ 著

ダイヤモンド社

2015年ラグビーW杯南アフリカ戦勝利、2019年W杯イングランド準優勝。リーダーは、チームの意識をどう変え、生まれ変わらせたのか。数多くの挫折を乗り越え、多くの実績を残した名将、エディー・ジョーンズを描く。

2021:3./ 493p 図版16p

978-4-478-10994-6

本体 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2021/06/13



人は死んだらどこへ行けばいいのか〜現代の彼岸を歩く〜

佐藤弘夫 著

興山舎

巨大墳墓を造った古代日本人が墓に執着しなくなったのはなぜか？ 近世に墓参を必ずするように変わり、今お墓を捨てる者まで現れたのはなぜか？ 日本思想史の第一人者が列島の霊場をたずね、激変する他界観の正体を解明する。

2021:4./ 329p

978-4-910408-02-6

本体 ¥2,420〔税込〕



産経新聞 2021/06/13



街場の芸術論

内田樹 著

青幻舎

なぜ人間には、社会には、「芸術」が必要なのか。表現の自由や言論の自由について考察し、三島由紀夫、宮崎駿、大瀧詠一などのアーティストとその作品を、ウチダ的視点で読み解く。劇作家・演出家、平田オリザとの対談も収録。

2021:5./ 280p

978-4-86152-839-2

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/06/13



にぎやかな落日

朝倉 かすみ 著

光文社

北海道で独り暮らしをするおもちさん、83歳。不安と苛立ちと寂しさと、懐かしさと後悔とほんのちよつとの幸せと…。ひとりの老女の内面に寄り添った、人生最晩年の物語。『小説宝石』等掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021:4./ 240p

978-4-334-91398-4

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/06/13、読売新聞 2021/06/20



フジテレビプロデューサー血風録〜楽しいだけでもテレビじゃない〜

太田 英昭 著

幻冬舎

ワイドショーのADからフジ・メディア・ホールディングス社長へ。フジテレビの全盛期を末端から駆け上がった男が、テレビ屋としての半生を振り返りながら、自身の“論と熱”を語る。

2021:4./ 206p

978-4-344-03757-1

本体 ¥1,430〔税込〕



産経新聞 2021/06/19



英語の読み方〜ニュース、SNSから小説まで〜(中公新書 2637)

北村 一真 著

中央公論新社

ネット上で海外発の情報に接する機会が増えた昨今、英語を読む力の重要性はますます高まっている。ニュース記事や論文、SNS、小説など、幅広いタイプの英文の読み方を指南。論理的な読み解きのセオリーを解説する。

2021:3./ 10p,241p

978-4-12-102637-8

本体 ¥902〔税込〕



産経新聞 2021/06/19



世界SF作家会議

早川書房編集部 編

早川書房

現代日本を代表するSF作家が緊急会議を行い、人類に突きつけられた課題を徹底討論。劉慈欣、ケン・リュウら海外SF作家の提言、森泉岳土、宮崎夏次系らのコミックも収録する。フジテレビの番組を書籍化。

2021:4./ 246p

978-4-15-210018-4

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/06/20



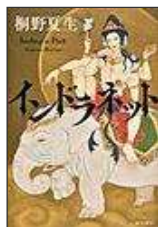
小池一子〜はじまりの種をみつける〜(のこす言葉 KOKORO BOOKLET)

小池 一子 著
平凡社

人は言葉をたよりに生きている。心にのこる言葉は、人に手渡すこともできる。数々の才能とともに時代と歩み続けてきたクリエイティブ・ディレクター、小池一子が自らを語る。人生の先輩による語りおろし自伝シリーズ。

2021.5./ 111p
978-4-582-74125-4
本体 ¥1,760〔税込〕
* 9 7 8 4 5 8 2 7 4 1 2 5 4 *

産経新聞 2021/06/20



インドラネット

桐野 夏生 著
KADOKAWA

美しく聡明なカリスマ性を持つ同級生、空知がカンボジアで消息を絶った。取り柄のないことにコンプレックスを抱いてきた晃は、愛しい友人を追い、東南アジアの混沌に飛び込むが…。『小説野性時代』連載を加筆し単行本化。

2021.5./ 373p
978-4-04-105604-2
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 1 0 5 6 0 4 2 *

産経新聞 2021/06/20



ある北朝鮮テロリストの生と死〜証言・ラングーン事件〜(集英社新書 1069)

羅 鍾一 著
集英社

67 人の死傷者を出した韓国大統領暗殺未遂事件「ラングーン事件」。実行犯が自ら明かす、その真相とは？ 北朝鮮テロリスト、カン・ミチョルの証言を記録し、周辺資料も拾い集めながら、事件の全貌と南北関係の矛盾に迫る。

2021.5./ 270p
978-4-08-721169-6
本体 ¥968〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 2 1 1 6 9 6 *

産経新聞 2021/06/20



レッドネック

相場 英雄 著
角川春樹事務所

米系大手広告代理店に勤務する矢吹蛭子は、バンクーバーに住む謎のデータサイエンティスト・ケビン坂田に極秘プロジェクトへの協力を取り付けるが…。そのプロジェクトの中味とは？『ランティエ』連載に書き下ろしを追加。

2021.5./ 381p
978-4-7584-1377-0
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 7 5 8 4 1 3 7 7 0 *

産経新聞 2021/06/20



評伝大野伴睦〜自民党を作った大衆政治家〜

丹羽 文生 著
並木書房

「義理と人情とやせがまん」をモットーに鳩山一郎、吉田茂に忠義を尽くし、三木武吉とタッグを組んで保守合同を実現させ、初期自民党を育て上げた元自民党副総裁・大野伴睦。戦後政治史に異彩を放つ大衆政治家の生涯を描く。

2021.5./ 235p
978-4-89063-407-1
本体 ¥1,650〔税込〕
* 9 7 8 4 8 9 0 6 3 4 0 7 1 *

産経新聞 2021/06/20



完本仏像のひみつ

山本 勉 著
朝日出版社

仏像たちにもソシキがある！ 仏像もやせたり太ったりする！ 仏像の眼は光る！ 仏像の10 のひみつをイラストや写真とともにわかりやすく解説。お寺や博物館で仏像に出会い、鑑賞するのが楽しくなる一冊。

2021.6./ 262p
978-4-255-01239-1
本体 ¥2,090〔税込〕
* 9 7 8 4 2 5 5 0 1 2 3 9 1 *

産経新聞 2021/06/26



膠を旅する

内田あぐり／青木茂／上田邦介／金子朋樹／北澤智豊／北澤憲昭／小金沢智／後藤秀聖／朴亨國／山本直彰 著

国書刊行会

動物の皮屑を原料とする日本画の伝統画材「膠」。北方先住民族の狩猟と皮なめし文化、牛と鹿から?いだ一枚皮からの膠づくりについて記すほか、膠の研究を続ける画材店へのインタビュー等も収録する。屠場などの写真あり。

産経新聞 2021/06/26

2021:5./ 237p

978-4-336-07184-2

本体 ¥4,180〔税込〕



* 9 7 8 4 3 3 6 0 7 1 8 4 2 *



みんな自分らしくいるためのLGBT(ちくまプリマー新書 377)

遠藤 まめた 著

筑摩書房

恋愛における変なルール、個性を尊重するわりには厳しい校則、友だちの範囲…。私たちを取り巻く「当たり前」から自由になれるよう、性の多様性について考える。

産経新聞 2021/06/27

2021:6./ 207p

978-4-480-68403-5

本体 ¥902〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 0 6 8 4 0 3 5 *



WORLD RESET 2021 大暴落にむかう世界

宮崎 正弘 著

ビジネス社

大分裂するアメリカ、大停滞する中国。両国の激突は新潮流を生み、世界地図は二極化する。この危機が日本を覚醒させる。再編する世界勢力図を読み解き、日本再生への道のりを考える。

産経新聞 2021/06/27

2021:5./ 253p

978-4-8284-2283-1

本体 ¥1,650〔税込〕



* 9 7 8 4 8 2 8 4 2 2 8 3 1 *



なりすまし～正気と狂気を揺るがす、精神病院潜入実験～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-16)

スザンナ・キャハラン 著

亜紀書房

精神医療は、正気と狂気の境界をどのように区別してきたのか。精神医療を取り巻く諸矛盾を徹底的な取材で浮き彫りにすると共に、1973 年に行われた医療潜入実験「ローゼンハン実験」の真相を探る。

産経新聞 2021/06/27

2021:4./ 464p

978-4-7505-1687-5

本体 ¥2,420〔税込〕



* 9 7 8 4 7 5 0 5 1 6 8 7 5 *



鉄道無常～内田百間と宮脇俊三を読む～

酒井 順子 著

KADOKAWA

鉄道には、俗世とは切り離された時間が流れている。変わり続ける車窓風景に人生と日本を見た、鉄道紀行界のふたりの巨星、内田百間と宮脇俊三の軌道を追う。『本の旅人』『カドブンノベル』掲載を単行本化。

産経新聞 2021/06/27

2021:5./ 235p

978-4-04-110989-2

本体 ¥1,650〔税込〕



* 9 7 8 4 0 4 1 1 0 9 8 9 2 *



薔薇のなかの蛇

恩田 陸 著

講談社

英国へ留学中のリセは、友人のアリスから薔薇をかたどった館のパーティに招かれる。アリスの家族と交流を深めるリセ。折しもその近くでは、首と胴体が切断された遺体が見つかり…。『メフィスト』掲載を加筆修正し単行本化。

産経新聞 2021/06/27

2021:5./ 316p

978-4-06-523050-3

本体 ¥1,870〔税込〕



* 9 7 8 4 0 6 5 2 3 0 5 0 3 *



ネットフリックス vs. ディズニー～ストリーミングで変わるメディア勢力図～

大原 通郎 著

日本経済新聞出版社

躍動するネットフリックス、事業転換を図るディズニー、既存メディアを呑み込むGAFA、アジアで支配力を強める中国勢。存在感を失う日本。デジタルメディアウォッチャーが「ストリーミング・ファースト」の最前線を追う。

2021:3./ 259p

978-4-532-32383-7

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/06/27



マホガニー～私の最期の時～(フィクションの楽しみ)

E・グリッサン 著

水声社

ある子どもの胎盤とともに植えられた 1 本の木。その根元には、逃亡ののち銃殺された子どもが埋葬される。無数の声なき声と共に生きたマホガニーが、新たな歴史を語りはじめ…。カリブ海を代表する作家の、闘争/逃走の叙事詩。

2021:5./ 239p

978-4-8010-0487-0

本体 ¥2,750〔税込〕



産経新聞 2021/06/27



ルワンダでタイ料理屋をひらく

唐渡 千紗 著

左右社

日本人シングルマザーがルワンダでタイ料理屋をひらいた! 電子レンジを水洗いするスタッフ、初めてのお客さんは泥棒!? 戸惑いながら働くうちに、彼らのたくましさが見えてきて…。人生という「旅」の醍醐味を伝える一冊。

2021:3./ 260p

978-4-86528-021-0

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/06/27



It<1>(文春文庫)

スティーヴン・キング 著

文芸春秋

少年の日に体験したあの恐怖の正体は何だったのか? 二十七年後、薄れた記憶の彼方に引き寄せられるように故郷の町に戻り、IT(それ)と対決せんとする七人を待ち受けるものは?

1994:12./ 484p

978-4-16-714807-2

本体 ¥1,045〔税込〕



朝日新聞 2021/06/05



褒めるひと 褒められるひと(1)(KC デラックス)

たけだ のぞむ 著

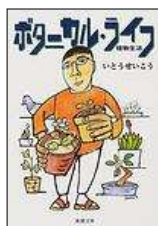
講談社

朝日新聞 2021/06/05

2021:5./ 160p

978-4-06-523359-7

本体 ¥748〔税込〕



ボタニカル・ライフ～植物生活～(新潮文庫)

いとう せいこう 著

新潮社

朝日新聞 2021/06/05

2004:2./ 399p

978-4-10-125014-4

本体 ¥737〔税込〕





象は鼻が長い～日本文法入門～(三上章著作集)

三上 章 著

くろしお出版

朝日新聞 2021/06/05

1960:10./ 270p

978-4-87424-117-2

本体 ¥2,420〔税込〕



菜食主義者(新しい韓国の文学 01)

ハン・ガン 著

クオン

ごく平凡な女だったはずの妻・ヨンヘが、ある日を境に肉食を拒否し、日に日にやせ細っていく姿を夫が語る「菜食主義者」のほか、「蒙古斑」「木の花火」を収めた連作小説集。

2011:5./ 301p

978-4-904855-02-7

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/06/05



若冲のひみつ～奇想の絵師はなぜ海外で人気があるのか～(PHP新書 1253)

山口 桂 著

PHP研究所

コレクターたちは、若冲の何に惹かれて、蒐集を行なったのか。海外からみた日本美術の魅力をオークションの世界から解説する。日本文学研究者・ロバートキャンベルとの対談も収録。

2021:3./ 157p

978-4-569-84915-7

本体 ¥1,012〔税込〕



朝日新聞 2021/06/05



スティーヴン・キング論集成～アメリカの悪夢と超現実的光景～

風間賢二 著

青土社

昔も今も人を虜にしてやまない作家、スティーヴン・キング。恐怖をベストセラーにした男の圧倒的作品世界をつまびらかにする。スティーヴン・キング全作品紹介、作品・人名索引も収録。

2021:5./ 501p,41p

978-4-7917-7376-3

本体 ¥3,740〔税込〕



朝日新聞 2021/06/05



高瀬庄左衛門御留書

砂原 浩太郎 著

講談社

神山藩で、郡方を務める高瀬庄左衛門。50 を前にして妻子を失い、息子の嫁とともに、寂寥と悔恨の中に生きていた。しかし、藩の政争の嵐が庄左衛門を襲い…。人生の苦渋と生きる喜びを丁寧に描く。

2021:1./ 335p

978-4-06-519273-3

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/06/05



宇佐美圭司～よみがえる画家～

加治屋 健司 編

東京大学出版会

初期の抽象絵画から晩年の<大洪水>の絵画まで、主な時代の絵画を概観し、美術史的な側面から宇佐美圭司を見直す。代表的な論考も収録。2021 年東京大学駒場博物館開催の展覧会と連動し書籍化。

2021:4./ 181p

978-4-13-080224-6

本体 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2021/06/05



アウトサイダー<下>

スティーヴン・キング 著

文藝春秋

探偵ホリーの手を借りて、事件の再調査を始めた刑事ラルフは、同様の事件が過去に複数起きていたことを突き止める。そしてすべての謎を結びつける邪悪なアウトサイダー「エル・クーコ」が浮かび上がり…。

朝日新聞 2021/06/05

2021:3./ 333p

978-4-16-391352-0

本体 ¥2,420〔税込〕



ニッポン脱力神さま図鑑～仁王、道祖神、狛犬などが大集合！～

宮田珠己 著

廣済堂出版

鬼コ、国東仁王さま、鹿児島仁王どん、人形道祖神、肥前狛犬…。予定調和をふきとばす圧倒的なユルさ。こんな姿の神仏もありなのか！ 著者が旅で見つけた、路傍の“ゆるカワ”323 体を写真とともに紹介。

朝日新聞 2021/06/05

2020:5./ 160p

978-4-331-52288-2

本体 ¥1,760〔税込〕



スペース・コロニー 宇宙で暮らす方法(ブルーバックス B-2172)

向井 千秋／東京理科大学 スペース・コロニー研究センター 著

講談社

宇宙で人が暮らす時代が始まっている！ 極限環境ともよべる宇宙において、人が暮らすためには？ 酸素や水、食料や電気・エネルギーを作るには？ さまざまな課題を、技術開発の最前線とともに徹底解説する。

朝日新聞 2021/06/05

2021:5./ 254p

978-4-06-523566-9

本体 ¥1,100〔税込〕



だるまちゃんの思い出 遊びの四季～ふるさとの伝承遊戯考～(文春文庫 か 72-2)

かこ さとし 著

文藝春秋

児童文学者かこさとしが幼い日々を過ごした、ふるさと福井県越前市での「遊びの記憶」をたどった名エッセイを復刊。当時の子ども心に立ちかえり、その遊びの世界から得たものをさぐり出す。楽しい挿絵も満載。

朝日新聞 2021/06/05

2021:5./ 279p

978-4-16-791696-1

本体 ¥825〔税込〕



喰音～伝えられないもどかしさ～(新潮文庫 こ-71-1)

近藤 雄生 著

新潮社

頭の中に伝えたい言葉ははっきりとあるのに、相手に伝える前に詰まってしまう喰音。自らも悩んだ著者が、当事者をはじめ家族や専門家など 80 人以上に丹念に話を聞き、問題に正面から向き合ったノンフィクション。

朝日新聞 2021/06/05

2021:5./ 269p

978-4-10-102761-6

本体 ¥605〔税込〕



核不拡散条約 50 年と核軍縮の進展(学術選書 国際法 014)

黒澤 満 著

信山社出版

1970 年に発効した核不拡散条約(NPT)。条約に定められた「核軍縮の交渉義務」がどれだけ実効的に履行されてきたかを、50 年の間に署名された 10 本の核軍縮関連条約、9 回の再検討会議を中心に検証する。

朝日新聞 2021/06/05

2021:4./ 16p,389p

978-4-7972-5414-3

本体 ¥9,680〔税込〕





浅草かっぱ橋商店街リアル店舗の奇蹟

飯田 結太 著
プレジデント社

ノルマなし。売上目標なし。型破りの経営で店舗の売上は急拡大! 西浅草の小さな料理道具専門店の6代目が、廃業寸前から人気店へと変身させた「シンプルな常識」を余すところなく紹介する。厳選料理道具も掲載。

朝日新聞 2021/06/05

2021:4./ 253p
978-4-8334-2408-0
本体 ¥1,760〔税込〕
* 9 7 8 4 8 3 3 4 2 4 0 8 0 *



図説日本未確認生物事典(角川ソフィア文庫 J125-1)

笹間 良彦 著
KADOKAWA

日本の民衆の精神史に登場する実在しないのに実在する、不可思議な未確認生物たち<幻人・幻獣・幻霊>の歴史。日本民族の本質にせまる、その謎に満ちた世界を、厳密な歴史文献と豊富な歴史図で解明した本格的な事典。

朝日新聞 2021/06/05

2018:11./ 473p
978-4-04-400443-9
本体 ¥1,320〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 4 0 0 4 4 3 9 *



桜のような僕の恋人(集英社文庫 う23-2)

宇山 佳佑 著
集英社

美容師の美咲と、カメラマンを目指す晴人。恋人として幸せに過ごしていた二人だったが、美咲が、人の何十倍もの早さで年老いる難病を発症してしまう。老婆になっていく姿を晴人にだけは見せたくないと悩む美咲は…。

朝日新聞 2021/06/05

2017:2./ 335p
978-4-08-745548-9
本体 ¥660〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 4 5 5 4 8 9 *



幻獣の話(講談社学術文庫 2634)

池内 紀 著
講談社

マルコ・ポーロの一角獣、日光東照宮に潜む霊獣、「山海経」のユニークな“怪”…。異形の獣はそれらを生みだす私たちの内にこそ棲んでいる。古今東西の書物に記された不思議な生きものをめぐる、滋味あふれる随想。

朝日新聞 2021/06/05

2020:11./ 176p
978-4-06-521616-3
本体 ¥924〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 1 6 1 6 3 *



アウトサイダー<上>

スティーヴン・キング 著
文藝春秋

小さな町を揺るがした少年惨殺事件。信頼厚い教師テリーが犯人だとする証拠が無数に積みあがる。だが事件当日、テリーには鉄壁のアリバイがあった。とまどうラルフ刑事をよそに、町民はテリーを異常殺人犯とみなし…。

朝日新聞 2021/06/05

2021:3./ 340p
978-4-16-391351-3
本体 ¥2,420〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 3 5 1 3 *



そもそも植物とは何か

フロランス・ビュルガ 著
河出書房新社

植物は人間の五感に相当する感覚を持つのか。フッサールやメルロ=ポンティの現象学をベースに「植物の生命と存在」について考察。「植物は人間や動物とは異なる存在であり、感覚も知性もない」ことを丁寧に解説する。

朝日新聞 2021/06/05

2021:4./ 232p
978-4-309-25422-7
本体 ¥2,585〔税込〕
* 9 7 8 4 3 0 9 2 5 4 2 2 7 *



植物の生の哲学～混合の形而上学～

エマヌエーレ・コッチャ、嶋崎 正樹 著

勁草書房

光合成により酸素を作り出し、あらゆる生物が住まう環境を整える植物。植物は世界と溶け合い、世界を作り出し、世界に存在している。動物の哲学も存在論的転回もやすやすと超えて、植物の在り方から存在論を問い直す。

朝日新聞 2021/06/05

2019:8./ 8p,215p
978-4-326-15461-6
本体 ¥3,520〔税込〕



名画で読み解くプロイセン王家 12 の物語(光文社新書 1131)

中野 京子 著

光文社

フリードリヒ大王とビスマスクという傑物を擁し、世界最強国の一角に食い込んだプロイセン。ヨーロッパの原型を作った王家の 217 年間の光と闇、運、不運、そして熱い人間ドラマを、色彩豊かな名画とともに読み解く。

朝日新聞 2021/06/05

2021:5./ 198p
978-4-334-04539-5
本体 ¥1,078〔税込〕



園芸家の一年(平凡社ライブラリー 825)

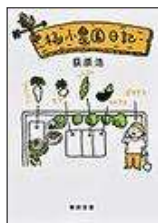
カレル・チャペック 著

平凡社

1 月は固い大地にシャベルをへし折り、4 月はやわらかい土中の芽吹きに心躍らせる。腰を曲げ、足のやり場に困りながら、植物に人生を学び、日々奮闘する園芸家の 12 か月の喜怒哀楽を、愛とユーモアたっぷりに綴る。

朝日新聞 2021/06/05

2015:2./ 235p
978-4-582-76825-1
本体 ¥1,320〔税込〕



極小農園日記(毎日文庫 お 1-2)

荻原 浩 著

毎日新聞出版

「採れたてのキュウリとビール。味噌をつけてぱくり。で、ふはっ。おいしいですよ」自分で育てて自分で食べる、極上の野菜たち。庭先の春夏秋冬、小説の話、旅路にて…。熟練作家がおくる、滋味豊かな初エッセイ集。

朝日新聞 2021/06/05

2021:4./ 321p
978-4-620-21034-6
本体 ¥770〔税込〕



幻獣辞典(河出文庫 ホ 5-1)

ホルヘ・ルイス・ボルヘス 著

河出書房新社

一角獣、セイレーン、ゴーレム、八岐大蛇…。豊かな想像力が産みだした奇妙な存在たちを、知の怪物ボルヘスが集成した異世界案内。「イーリアス」から C・S・ルイス等の著作まで、古今東西・森羅万象 120 項目を収載。

朝日新聞 2021/06/05

2015:5./ 329p
978-4-309-46408-4
本体 ¥1,210〔税込〕



千五郎の勝手に狂言解体新書

茂山千五郎 著

春陽堂書店

大蔵流能楽師狂言方、十四世茂山千五郎は、一曲をどのように考え、どのように捉えて演じているのか。「千鳥」「蝸牛」「釣狐」など 19 曲を取り上げ、想いを綴る。舞台写真も多数収録。ファンクラブ会報誌連載を書籍化。

朝日新聞 2021/06/05

2021:3./ 277p
978-4-394-90396-3
本体 ¥2,750〔税込〕





新・いのちを守る気象情報(NHK 出版新書 654)

斉田 季実治 著

NHK出版

激甚化する自然災害にどう対処すればいいのか。人気気象キャスターが、台風、大雨、地震、火山など 8 つの大きな自然災害について、その基本メカニズムや予報・警報の見方、それをどう実際の行動に結びつけるかを解説する。

朝日新聞 2021/06/05

2021:5./ 225p

978-4-14-088654-0

本体 ¥968〔税込〕



驚異と怪異～想像界の生きものたち～

山中 由里子 編

河出書房新社

なぜ人類は、この世のキワにいるかもしれない不思議な生きものを思い描き、形にしてきたのか？世界の霊獣・幻獣・怪獣を集成し、妖怪やモンスターの源泉にある想像と創造の力を探る。国立民族学博物館特別展の公式図録。

朝日新聞 2021/06/05

2019:9./ 239p

978-4-309-22781-8

本体 ¥2,970〔税込〕



天体観測に魅せられた人たち

エミリー・レヴェック 著

原書房

危険を伴った旧時代の天体観測、重力波証明の瞬間に起こったドラマ、すばる望遠鏡や空飛ぶ望遠鏡 SOFIA、次世代望遠鏡 LSST…。天文学者たちのとんでもない実態と、目まぐるしく変化した観測天文学の半世紀を追う。

朝日新聞 2021/06/05

2021:3./ 322p,2p

978-4-562-05903-4

本体 ¥3,080〔税込〕



俺俺(新潮文庫 15-2)

星野 智幸 著

新潮社

なりゆきでオレオレ詐欺をしてしまった俺は、気付いたら別の俺になっていた。上司も俺だし、母親も俺。他人との違いが消えた、100%の単一世界から、同調圧力が充満するストレスフルな現代社会を笑う、戦慄の「俺」小説！

朝日新聞 2021/06/05

2013:4./ 342p

978-4-10-116452-6

本体 ¥605〔税込〕



氏名の誕生～江戸時代の名前はなぜ消えたのか～(ちくま新書 1567)

尾脇 秀和 著

筑摩書房

江戸時代、人名には身分を表示する役割があったが、王政復古を機に破綻。さらに新政府により「氏名」が生まれ、それは国民管理の道具へと変貌し…。歴史研究者が「氏名」誕生の歴史から、近世・近代移行期の実像を活写する。

朝日新聞 2021/06/05

2021:4./ 313p

978-4-480-07376-1

本体 ¥1,034〔税込〕



？

星野 智幸 著

新潮社

炎天下の公園で、涙が止まらない人で溢れかえる世界で、人間が貨幣となり自らを売買する社会で。自分ではない何かになりたいと切望する人々が、自らの物語を語り始め…。連環する9つの物語。『新潮』他掲載に加筆し単行本化。

朝日新聞 2021/06/05

2018:1./ 265p

978-4-10-437204-1

本体 ¥1,760〔税込〕





人と食材と東北と〜つくと食べるをつなぐ物語〜

オレンジページ

「世なおしは、食なおし。」を合言葉に、つくる人と食べる人をつないできた情報誌『東北食べる通信』。同誌がこれまで紹介してきた東北 6 県の生産者、自然、食材の魅力を、豊富なカラー写真とともにまとめる。

朝日新聞 2021/06/05、産経新聞 2021/06/06

2021:5./ 209p

978-4-86593-426-7

本体 ¥2,530〔税込〕



植物忌

星野智幸 著

朝日新聞出版

アイビーを体に生やして着飾るうちに植物化した人間たちの幸福な未来を描いた「スキン・プラント」、蜂起する植物たちと特殊作業員ネオ・ガーデナーが対峙する「始祖ダチュラ」…。書きおろしを含む全 11 編の植物小説集。

朝日新聞 2021/06/05、朝日新聞 2021/06/12

2021:5./ 222p

978-4-02-251760-9

本体 ¥1,760〔税込〕



欲望の錬金術〜伝説の広告人が明かす不合理のマーケティング〜

ローリー・サザーランド 著

東洋経済新報社

データやロジックではイノベーションは生まれない。一見不合理な「錬金術」には、ビジネスや社会を変える力がある。究極のコミュニケーション・サイエンスを進化論や心理学、行動経済学の知見をもって伝授する。

朝日新聞 2021/06/05、日本経済新聞 2021/06/19

2021:4./ 492p

978-4-492-55799-0

本体 ¥2,640〔税込〕



理不尽ゲーム

サーシャ・フィリペンコ／奈倉 有里 著

集英社

10 年の昏睡から生還した青年が見たものは、ひとりの大統領にすべてを掌握された祖国と、理不尽な状況に疑問をもつことも許されぬ人々の姿だった。ベラルーシのディストピア的現状を文学の力で暴く。

朝日新聞 2021/06/05、毎日新聞 2021/06/05

2021:3./ 253p

978-4-08-773511-6

本体 ¥2,310〔税込〕



分水嶺〜ドキュメントコロナ対策専門家会議〜

河合 香織 著

岩波書店

新型コロナウイルス対策の指針を示した「専門家会議」では、どんな議論がなされたのか。約 5 カ月にわたる専門家たちの議論と葛藤を描く。2020 年 12 月の関連事項カレンダーも収録。『世界』連載をもとに書籍化。

朝日新聞 2021/06/05、毎日新聞 2021/06/12

2021:4./ 9p,216p,7p

978-4-00-061466-5

本体 ¥1,980〔税込〕



反美学〜ポストモダンの諸相〜

ハル・フォスター 編

勁草書房

20 世紀末の社会的大変動の本質を捉えたポストモダニズムの古典。ハーバーマスの「近代＝未完のプロジェクト」をうけ、建築、彫刻、絵画、写真、音楽、コミュニケーションの現場における変化／ポスト・モダン状況を論じる。ボードリヤール、サイード、ロザリンド・クラウス、ダグラス・クリンプらの論考を収録。

朝日新聞 2021/06/12

1998:9./ 308p

978-4-326-15191-2

本体 ¥3,850〔税込〕





古事記研究

西郷 信綱 著

未来社

朝日新聞 2021/06/12

2002:5./ 305,14p

978-4-624-60022-8

本体 ¥5,280〔税込〕



封建社会

マルク・ブロック、堀米庸三 著

岩波書店

20 世紀の歴史学が生み出したまぎれもない古典。ブロックは深い学識を背景に比較史の方法を駆使し、「封建社会」の全体史を人間の心性とともに再現する。日本のフランス中世史研究の蓄積を傾注した待望久しい新訳。

1995:11./ 560p

978-4-00-002092-3

本体 ¥10,780〔税込〕



朝日新聞 2021/06/12



チャリング・クロス街 84 番地 増補版(中公文庫 ハ 6-2)

ヘレーン・ハンフ 著

中央公論新社

ロンドンの古書店に勤める男性と、ニューヨーク在住の女性脚本家との 20 年にわたる交流を描いた、心あたたまる書簡集。後日譚「その後」を収録した増補版。

2021:4./ 241p

978-4-12-207025-7

本体 ¥902〔税込〕



朝日新聞 2021/06/12



テオリア〜高橋英夫著作集〜<1> 批評の精神

高橋 英夫 著

河出書房新社

文芸評論、随筆、ドイツ文学の泰斗の著作集。1 は、第 3 回亀井勝一郎賞受賞の表題作をはじめ、林達夫、小林秀雄ら影響を受けた 4 人の批評家についての論考を収録する。

2021:5./ 493p

978-4-309-70911-6

本体 ¥5,060〔税込〕



朝日新聞 2021/06/12



物の体系〜記号の消費〜(叢書・ユニベルシタス)

J.ボードリヤール 著

法政大学出版局

消費される物になるためには、物は記号にならなくてはならない。それ自体で存在する物から、記号としての物へという20世紀の思考の軸の重要な転回を意識的に記述する。

2008:6./ 264p

978-4-588-09910-6

本体 ¥3,520〔税込〕



朝日新聞 2021/06/12



きみは知らない(韓国文学セレクション)

チョン・イヒョン 著

新泉社

11 歳の少女ユジの失踪をきっかけに、次第に明るみになっていく家族それぞれの秘密…。巧みなストーリー展開と観察眼で、現代社会と家族の問題を鋭い視点で緻密に描いた長篇小説。

2021:4./ 439p

978-4-7877-2121-1

本体 ¥2,530〔税込〕



朝日新聞 2021/06/12



子どもたちがつくる町～大阪・西成の子育て支援～

村上 靖彦 著
世界思想社

「日雇い労働者の町」と呼ばれる大阪・西成。生活保護受給率は 23%にのぼる。この町で型破りな子育て支援活動をする 5 人にインタビューし、自発的で変化に富んだセーフティーネットを紹介する。

朝日新聞 2021/06/12

2021:4./ 268p

978-4-7907-1753-9

本体 ¥2,750〔税込〕



正欲

朝井 リョウ 著
新潮社

生き延びるために、手を組みませんか。いびつで孤独な魂が奇跡のように巡り遭い…。共感を呼ぶ傑作か？ 目を背けたくなる問題作か？ 朝井リョウの作家生活 10 周年を記念した書下ろし長篇小説。

朝日新聞 2021/06/12

2021:3./ 379p

978-4-10-333063-9

本体 ¥1,870〔税込〕



エドモンド・ウィルソン愛の変奏曲

ウィルソン 夏子 著
作品社

詩人のエドナ・セント・ヴィンセント・ミレイ、舞台女優のメアリー・ブレア、作家のメアリー・マッカーシー…。20 世紀を代表する大批評家が日記に記した華麗なる女性遍歴を、義理の娘の目から描く評伝。

朝日新聞 2021/06/12

2021:4./ 338p,7p

978-4-86182-841-6

本体 ¥3,740〔税込〕



野生馬を追う～ウマのフィールド・サイエンス～ 増補版

木村 李花子 著
東京大学出版会

馬たちは人の手を離れ野に戻されても、したたかに生きる。その姿を追って、北海道、カナダ、ケニヤ、そしてインドへ…。野生に生きる馬たちに魅せられて周縁を彷徨う女性研究者が描く馬と人間をめぐる動物記。

朝日新聞 2021/06/12

2021:5./ 216p,5p 図

版 8 枚

978-4-13-063951-4

本体 ¥4,180〔税込〕



私がフェミニズムを知らなかった頃

小林 エリコ 著
晶文社

殴る父と耐える母、エロ情報の氾濫、あからさまな賃金格差、性犯罪におびえなければならぬ日常…。貧困、精神疾患、自殺未遂など、いくつもの困難を生き抜いてきた著者が、体当たりでつかんだフェミニズムの物語。

朝日新聞 2021/06/12

2021:5./ 214p

978-4-7949-7262-0

本体 ¥1,650〔税込〕



スター

朝井 リョウ 著
朝日新聞出版

新人の登竜門となる映画祭でグランプリを受賞した尚吾と紘。2 人は名監督への弟子入りと YouTube での発信という真逆の道を選ぶ。作品の質や価値は何をもって測られるのか…。『朝日新聞』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2021/06/12

2020:10./ 385p

978-4-02-251719-7

本体 ¥1,760〔税込〕





ブランケット・ブルームの星型乗車券(幻冬舎文庫 よ-29-1)

吉田 篤弘 著
幻冬舎

<デイリー・ブランケット>紙の専属ライター、ブランケット・ブルーム君は、はじめて連載コラムを持つことになった。題して、<ブランケット・ブルームの星型乗車券>…。読むだけで旅した気分になる、架空の街の物語。

2021:4./ 297p
978-4-344-43083-9
本体 ¥825〔税込〕
* 9 7 8 4 3 4 4 3 0 8 3 9 *

朝日新聞 2021/06/12



オリンピックという名の虚構～政治・教育・ジェンダーの視点から～

ヘレン・ジェファースン・レンスキー 著
晃洋書房

オリンピックで得をしているのはだれか？ 歓喜や希望の水面下にうごめく政治的、経済的思惑を暴き、若者の教育やジェンダーなど人権的な視点からも鋭く切り込むことで、これからのスポーツメガイイベントのあり方を問う。

2021:3./
21p,219p,42p
978-4-7710-3446-4
本体 ¥2,970〔税込〕
* 9 7 8 4 7 7 1 0 3 4 4 6 4 *

朝日新聞 2021/06/12



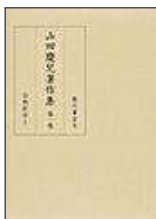
欧州の排外主義とナショナリズム～調査から見る世論の本質～

中井 遼 著
新泉社

欧州難民・移民危機やユーロ危機以降のヨーロッパにおける世論データの実証的分析を通じ、それらに実証的な根拠がないことを明らかにするとともに、排外感情の源泉は非経済的要因によって強く規定されていることを示す。

2021:3./ 303p
978-4-7877-2102-0
本体 ¥3,080〔税込〕
* 9 7 8 4 7 8 7 7 2 1 0 2 0 *

朝日新聞 2021/06/12



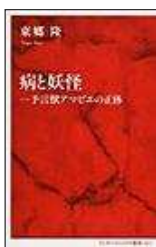
山田慶児著作集<第1巻> 自然哲学

『山田慶児著作集』編集委員会 編
臨川書店

東アジア科学の総体・個別理論に対して個性的な研究を展開し、思想史のアプローチによって科学文明の本質を探り続けた山田慶児の著作集。第1巻は、初期の代表作「朱子の自然学」に加え、科学思想史の論考3編を収録する。

2021:4./ 373p,6p
978-4-653-04601-1
本体 ¥14,300〔税込〕
* 9 7 8 4 6 5 3 0 4 6 0 1 1 *

朝日新聞 2021/06/12



病と妖怪～予言獣アマビエの正体～(インターナショナル新書 071)

東郷 隆 著
集英社インターナショナル

「アマビエ」をはじめとした幻の生物や妖怪を紹介。流行病や災害と日本人がどのように向き合ってきたのか、その際に妖怪たちとどのような関係を結んで来たのかを、江戸?明治の瓦版・錦絵などに描かれた絵とともに考察する。

2021:4./ 190p
978-4-7976-8071-3
本体 ¥880〔税込〕
* 9 7 8 4 7 9 7 6 8 0 7 1 3 *

朝日新聞 2021/06/12



彼女は頭が悪いから(文春文庫 ひ14-4)

姫野 カオルコ 著
文藝春秋

女子大に進学した美咲と、東京大学理科I類に進学したつばさ。ふたりは恋に落ちたはずだった。渦巻く人々の妬み、劣等感、格差意識。そして起こった集団わいせつ事件。しかし、世間に叩かれたのは被害者の美咲のほうだった…。

2021:4./ 557p
978-4-16-791670-1
本体 ¥957〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 7 9 1 6 7 0 1 *

朝日新聞 2021/06/12



<体育会系女子>のポリティクス～身体・ジェンダー・セクシュアリティ～

井谷 聡子 著

関西大学出版部

「男らしいスポーツ」の世界で活躍するたくましい「女性アスリート」達はどう語られたのか。日本の女子スポーツ界を取り囲む家父長制的、国民主義的、異性愛主義的、シスジェンダー主義的言説を明らかにし、抑圧の構造に迫る。

2021:3./ 7p,258p

978-4-87354-732-9

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/06/12



権威主義の誘惑～民主政治の黄昏～

アン・アプルボーム 著

白水社

トランプとトランプ主義を可能にしたものは何なのか。欧米各国の現場で、民主政治の衰退と権威主義の台頭を観察し分析した思索のエッセイ。「民主政治の危機の根源」を考察する警鐘の書。特別寄稿「日本語版への序文」も収録。

2021:4./ 203p,11p

978-4-560-09836-3

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/06/12、朝日新聞 2021/06/12、東京・中日新聞 2021/06/13



建築家として生きる～職業としての建築家の社会学～ (関西学院大学研究叢書 第222編)

松村 淳 著

晃洋書房

日本の建築家はいかにつくりられ、継承されてきたのか。現場の建築家たちはこの職業とどう向き合い、実践してきたのか。さまざまな建築家の姿を、背景にある時代性とともに考察し、その輪郭を描きだす。

2021:3./ 9p,287p,15p

978-4-7710-3475-4

本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/06/12、読売新聞 2021/06/27



模倣の罠～自由主義の没落～

イワン・クラステフ／スティーヴン・ホームズ 著

中央公論新社

西欧先進諸国を鏡とする「模倣の時代」の行き詰まりが、プーチン、習近平、トランプなど強権的な指導者の登場を招いた。民主的で自由主義的な未来は取り戻せるか。冷戦終焉から30年、自由主義の試練を描く。

2021:4./ 347p

978-4-12-005430-3

本体 ¥3,740〔税込〕



朝日新聞 2021/06/12、日本経済新聞 2021/06/12、読売新聞 2021/06/13



オリンピック反対する側の論理～東京・パリ・ロスをつなぐ世界の反対運動～

ジュールズ・ボイコフ／井谷 聡子／鶴飼 哲 著

作品社

オリンピック研究の世界的第一人者が、平昌、リオ、ロンドン、そして東京、ロス、パリのオリンピック開催地・予定地で調査・取材を行い、世界に広がる五輪反対の動き、その論理と社会的背景をまとめる。

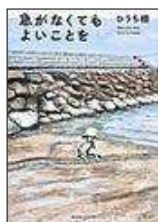
2021:4./ 288p

978-4-86182-846-1

本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/06/12、毎日新聞 2021/06/26



急がなくてもよいことを(BEAM COMIX)

ひうち棚 著

KADOKAWA

朝日新聞 2021/06/19

2021:5./ 257p

978-4-04-736659-6

本体 ¥1,100〔税込〕





8年(集英社文庫)

堂場 瞬一 著

集英社

朝日新聞 2021/06/19

2004:1./ 349p

978-4-08-747658-3

本体 ¥748〔税込〕



風立ちぬ・美しい村 改版(新潮文庫 ほ-1-2)

堀 辰雄 著

新潮社

朝日新聞 2021/06/19

2011:10./ 233p

978-4-10-100402-0

本体 ¥473〔税込〕



呂運亨評伝<1> 朝鮮三・一独立運動

姜 徳相 著

新幹社

日本の植民地下、上海を拠点に独立運動を展開した呂運亨。1919年の朝鮮三・一運動、中国五・四運動、原敬内閣の日本へ朝鮮の独立を訴えるなど、独立運動の足跡を描く。

2002:6./ 413p

978-4-88400-024-0

本体 ¥4,950〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19



日本の名句・名歌を読みかえす

高橋 順子 編

いそっぷ社

「菜の花や月は東に日は西に」「やは肌のあつき血潮にふれも見でさびしからずや道を説く君」など、名句・名歌 67 作品を解説とともに紹介。日本各地で撮影された美しい写真も掲載する。

2021:6./ 127p

978-4-900963-94-8

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19



ポピュリズムと司法の役割～裁判員制度にみる司法の変質～

斎藤 文男 著

花伝社

ポピュリズムが蔓延する世界を司法は抑止できるのか。司法のポピュリズム化=裁判員制度について、司法の民営化、プロフェッショナルとしての裁判官など、多様なテーマを通して検証する。

2018:5./ 219p

978-4-7634-0854-9

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19



沖縄平和論のアジェンダ～怒りを力にする視座と方法～

星野 英一、島袋 純、高良 鉄美、阿部 小涼、里井 洋一、山口 剛史 著

法律文化社

沖縄から発信する「平和論」を学ぶテキスト。平和と正義が脅かされる実態と構造の考察を踏まえ、問題の本質を追究する視座を提示する。沖縄戦後史年表が閲覧できるQRコード付き。見返しに地図あり。

2018:4./ 8p,211p

978-4-589-03909-5

本体 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19



トマス・アキナス『神学大全』(講談社学術文庫 2591)

稲垣 良典 著

講談社

神とは何か。創造とは、悪とは、人間の幸福とは。13 世紀に著された中世最大の哲学書にして神学の集大成と名高い「神学大全」。そのエッセンスと現代人へのメッセージを、第一人者がやさしく読み解く。

朝日新聞 2021/06/19

2019:11./ 205p

978-4-06-518086-0

本体 ¥990〔税込〕



多数決は民主主義のルールか?

斎藤文男 著

花伝社

多数決なら、どんなことを、どのように決めてもよいのか。重要法案の強行採決が頻発する国会は、時に独裁への信任投票に堕してしまう。多数決の限界と民主主義との本質的關係を、先人の叡智から考える。

朝日新聞 2021/06/19

2021:4./ 175p

978-4-7634-0964-5

本体 ¥1,650〔税込〕



沖縄の植民地的近代～台湾へ渡った人びとの帝国主義的キャリア～ (神戸学院大学現代社会研究叢書 5)

松田 ヒロ子 著

世界思想社

琉球併合以来、日本人による差別と偏見に苦しんだ沖縄の人びとは、植民地支配下の台湾でどのように生きたのか。「支配」と「被支配」の間を生きた彼らの経験から、沖縄の近代と日本帝国主義を考察する。

朝日新聞 2021/06/19

2021:4./ 7p,261p

978-4-7907-1754-6

本体 ¥4,180〔税込〕



ゴミ清掃芸人の働き方解釈(インターナショナル新書 075)

滝沢 秀一／田中 茂朗 著

集英社インターナショナル

リモート? 副業? どう働く? そして、どう生きる? ゴミ清掃員兼お笑い芸人、マシンガンズ滝沢が、幸せになる働き方を解釈。ダブルワークの考え方や、セレンディピティの視点などについて述べる。

朝日新聞 2021/06/19

2021:6./ 174p

978-4-7976-8075-1

本体 ¥858〔税込〕



眉屋私記

上野 英信 著

海鳥社

貧しさゆえにメキシコ炭鉱移民となった萬栄。那覇の辻遊郭に身売りされた姉妹たち。眉屋一族の 150 年を通し、移民、辻売りという近代沖縄の底辺を貫く 2 つのテーマによって、そこに息づく民衆の歴史を描き出す。

朝日新聞 2021/06/19

2014:11./ 544p

978-4-87415-924-8

本体 ¥4,950〔税込〕





重力とは何か～アインシュタインから超弦理論へ、宇宙の謎に迫る～ (幻冬舎新書 お 13-1)

大栗 博司 著
幻冬舎

「弱い」「消せる」「どんなものにも等しく働く」などの性質があり、その働きが解明されていない重力。時間と空間が伸び縮みする相対論の世界から、ホーキングを経て、超弦理論まで。宇宙を支配する力の正体に迫る。

2012:5./ 289p
978-4-344-98261-1
本体 ¥968〔税込〕
* 9 7 8 4 3 4 4 9 8 2 6 1 1 *

朝日新聞 2021/06/19



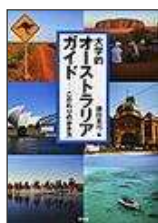
新敬語「マジヤバイっす」～社会言語学の視点から～

中村 桃子 著
現代書館

「そうっすね」「マジっすか」など、ヤンキー、ガテン系、体育会系の若者ことばといわれる「っす」言葉。日常会話からメディアまで、この言葉の使われ方を分析し、その形成過程と変化していく社会的意味づけを探る。

2020:3./ 221p
978-4-7684-7979-7
本体 ¥2,420〔税込〕
* 9 7 8 4 7 6 8 4 7 9 7 9 7 *

朝日新聞 2021/06/19



大学的オーストラリアガイド～こだわりの歩き方～

鎌田 真弓 編
昭和堂

海からの視線で、オーストラリアの歴史や人びとの交流を紐解き、アート・文学・スポーツに注目して、多民族・多文化オーストラリアの姿を描き出す。また、オーストラリアの戦争体験も取り上げる。見返しに地図あり。

2021:6./ 2p,278p,9,9p
978-4-8122-2016-0
本体 ¥2,750〔税込〕
* 9 7 8 4 8 1 2 2 2 0 1 6 0 *

朝日新聞 2021/06/19



地獄への近道(集英社文庫 お 16-23)

逢坂 剛 著
集英社

最近できた映画館で流れるのは1日1作品限り、しかも何が流れるか分からない。その隠された理由とは…。表題作をはじめ、全4編を収録。斉木&梢田の迷コンビが駆け回る警察小説。『web 集英社文庫』連載を文庫化。

2021:5./ 238p
978-4-08-744242-7
本体 ¥638〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 4 4 2 4 2 7 *

朝日新聞 2021/06/19



江戸の秘密～広重の浮世絵と地形で読み解く～

竹村 公太郎 著
集英社

広重の浮世絵は江戸時代の“写真”だ。“禿山”からはエネルギー問題を、「上野広小路」の絵からは防災対策を、馬糞からは資源のリサイクル問題を想像できる。広重の浮世絵をもとに、江戸時代の地形や政治の謎に迫る。

2021:4./ 271p
978-4-08-781700-3
本体 ¥2,530〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 8 1 7 0 0 3 *

朝日新聞 2021/06/19



時務の研究者 姜徳相～在日として日本の植民地史を考える～

姜徳相聞き書き刊行委員会 編
三一書房

植民地時代の皇国少年、民族を失った在日の苦悩、研究者としての第一歩、文化センター・アリアンの創設…。関東大震災時朝鮮人虐殺を世に問うた姜徳相が克明に語った半生の記録。コラム「国籍条項と差別」なども収録。

2021:4./ 271p
978-4-380-21000-6
本体 ¥2,420〔税込〕
* 9 7 8 4 3 8 0 2 1 0 0 0 6 *

朝日新聞 2021/06/19



運命の証人(創元推理文庫 M テ 7-10)

D・M・ディヴァイン 著
東京創元社

2 件の殺人で裁判にかけられる弁護士のプレスコット。彼は誰と誰を殺したとされているのか。6 年前、友人からある女性を紹介されたプレスコットは、ひと目でその美女ノラの虜になった。そこから彼の運命は狂いだして…。

2021.5./ 391p
978-4-488-24012-7
本体 ¥1,320〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 8 2 4 0 1 2 7 *

朝日新聞 2021/06/19



目撃(講談社文庫 に 28-17)

西村 健 著
講談社

電気メーターの検針員をしながら、幼稚園に通う娘をひとりで育てている奈津実。担当している住宅街で殺人事件が起きてから、彼女は何者かに見られている確信を持つ。相談を受けた一匹オオカミ刑事の穂積は、罟を仕掛け…。

2021.5./ 534p
978-4-06-523461-7
本体 ¥1,078〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 3 4 6 1 7 *

朝日新聞 2021/06/19



植物のいのち～からだを守り、子孫につなぐ驚きのしくみ～(中公新書 2644)

田中 修 著
中央公論新社

植物の「いのち」は、動物とはずいぶん違って見える。動かず、しゃべらず、食べない。一方で、栄養を自分で作る、体の一部が失われても復活するなどの能力も持ち…。ユニークな「いのち」の形と仕組みをやさしく解説する。

2021.5./ 4p,225p
978-4-12-102644-6
本体 ¥946〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 6 4 4 6 *

朝日新聞 2021/06/19



沈黙の終わり<下>

堂場瞬一 著
角川春樹事務所

自ら命を絶った警察署長。圧力をかけられ辞めた、元警察官僚の女性覆面作家。現れた巨大なる黒幕…。新鋭とベテラン、ふたりの新聞記者の矜持は、最悪の殺人事件の真相を暴けるか。デビュー20 周年を飾る、記念碑的作品。

2021.4./ 285p
978-4-7584-1375-6
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 7 5 8 4 1 3 7 5 6 *

朝日新聞 2021/06/19



理系女性の人生設計ガイド～自分を生かす仕事と生き方～(ブルーバックス B-2170)

大隅 典子／大島 まり／山本 佳世子 著
講談社

女性が理系の道を進むとき、どんな壁にぶつかるのか? 研究室や職場での悩みや、ワーク・ライフ・バランスなど、理系女性を取り巻く現状を取り上げ、先輩たちの仕事と日常から、理系女性の不安を乗り越えるヒントを伝える。

2021.5./ 260p
978-4-06-523181-4
本体 ¥1,100〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 3 1 8 1 4 *

朝日新聞 2021/06/19



感じるオープンダイアログ(講談社現代新書 2614)

森川 すいめい 著
講談社

ただ対話するだけで、精神面に困難を抱えた人の 8 割が回復するフィンランド発祥の「オープンダイアログ」。国際トレーナー資格を得た著者が、自らの壮絶な過去と、フィンランドで受けたトレーニングの様子をつぶさに記す。

2021.4./ 211p
978-4-06-523304-7
本体 ¥946〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 3 3 0 4 7 *

朝日新聞 2021/06/19



お寺の日本地図～名刹古刹でめぐる 47 都道府県～(文春新書 1309)

鶴飼 秀徳 著

文藝春秋

大噴火にも生き残った寺、断崖絶壁に建つ国宝の御堂…。日本史における重要度、地域性、文化性などをポイントに、各都道府県から「一度は訪れたい寺院」を選出。47 寺院の見どころ、歴史から、県民性に至るまでを紹介する。

2021.4./ 313p

978-4-16-661309-0

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19



新・人間関係のルール(光文社新書 1136)

辛酸 なめ子 著

光文社

あいづち力の極意、洗脳系女子の威力、マスク・ストレス、人間にも使える宇宙人との交流術…。SNS の悩みからコロナで起きた変化まで、辛酸なめ子がコミュニケーションの体験や気づきを綴る。『本がすき。』連載を再編集。

2021.6./ 227p

978-4-334-04544-9

本体 ¥858〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19



「文藝」戦後文学史

佐久間 文子 著

河出書房新社

空襲で社屋が焼かれてもお『文藝』の刊行は続き、そして戦後へ。その時、文学の<現場>では何が起きていたのか。現在まで続く<戦争>の感触を、掲載作品と関係者の証言から峻烈に描き出す。『文藝』掲載に加筆し単行本化。

2016.9./ 308p

978-4-309-02497-4

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19



「自分らしさ」と日本語(ちくまプリマー新書 374)

中村 桃子 著

筑摩書房

ことばには<その人らしさ>を表現し、話している人同士の関係を作り上げる働きがある。社会言語学の知見から、「名前」「呼称」「方言」といった観点を通して、ことばで「自分」を表現するとはどういうことかを明らかにする。

2021.5./ 231p

978-4-480-68400-4

本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19



多文化共生のためのシティズンシップ教育実践ハンドブック

多文化共生のための市民性教育研究会 著

明石書店

日本で多文化共生社会を実現していく上でベースとなる歴史的背景や知識、多様性を前提とした社会的包摂を考える 7 つのテーマに沿った高校の授業案を提案。生徒の発言を想定した Q&A も収録。資料のダウンロードサービス付き。

2020.3./ 167p

978-4-7503-4999-2

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19



沈黙の終わり<上>

堂場瞬一 著

角川春樹事務所

30 年間隠されてきた少女誘拐連続殺人。県を跨ぎ、少女を狙った卑劣な事件。縄張り拘る無駄な県警のプライド。利権を死守したい政権による圧力…。すべてを乗り越え、真相を追え! デビュー20 周年を飾る、記念碑的作品。

2021.4./ 286p

978-4-7584-1374-9

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19



シェフたちのコロナ禍～道なき道をゆく三十四人の記録～

井川 直子 著

文藝春秋

一人店主のバー、街角のイタリアン、星付きレストラン。店を開けてもお客は来ない未曾有のコロナ禍。2020年、2度目の緊急事態宣言を前にシェフたちは何を思い、どう動いたのか。それぞれの葛藤と未来への希望を描く。

2021.5./ 381p

978-4-16-391368-1

本体 ¥2,090〔税込〕



朝日新聞 2021/06/19、産経新聞 2021/06/20、読売新聞 2021/06/20



コロナ対策禍の国と自治体～災害行政の迷走と閉塞～(ちくま新書 1575)

金井 利之 著

筑摩書房

対策自体がなぜ災禍となるのか? 民衆にとって行政のコロナ対策自体が禍いとなっている苛政の現状を分析し、現状の権力集中の願望に代わる、地道な災害行政のあるべき姿を考える。

2021.5./ 315p

978-4-480-07403-4

本体 ¥1,034〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



小説火の鳥<大地編上>

桜庭一樹 著

朝日新聞出版

日中戦争期の大陸を舞台に描いた、歴史 SF 巨編。漫画家・手塚治虫が残した「火の鳥」続編の構想原稿に、作家・桜庭一樹が新しい命を吹き込む。『朝日新聞』bc 連載を加筆修正し単行本化。

2021.3./ 260p

978-4-02-251743-2

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



小説火の鳥<大地編下>

桜庭一樹 著

朝日新聞出版

日中戦争期の大陸を舞台に描いた、歴史 SF 巨編。漫画家・手塚治虫が残した「火の鳥」続編の構想原稿に、作家・桜庭一樹が新しい命を吹き込む。『朝日新聞』bc 連載を加筆修正し単行本化。

2021.3./ 316p

978-4-02-251744-9

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



永田キング～スポーツ漫才で一世を風靡した男の物語。～

澤田 隆治 著

鳥影社

万人のために、<スポーツ漫才>を生み出し、一大旋風を巻き起こした伝説の芸人・永田キング。昭和十年前後に活躍したお笑い芸人の全貌に迫る。映画スチール、年表、出番表などの資料も収録。

2020.7./ 375p

978-4-86265-779-4

本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



これでおしまい

篠田 桃紅 著

講談社

人間は死ぬまで一生迷路に入っているんです。迷いと、自ずから何とかなるだろうという楽観的な考え方がいつもやり合っている。107歳、世界的美術家が遺した「人生のことば」をまとめる。

2021.3./ 255p

978-4-06-517717-4

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



沖縄戦の戦争遺品

豊里 友行 著

新日本出版社

懐中時計、戦時中のメガネ、塊になった錆びた貨幣…。沖縄で60年以上遺骨収集してきた国吉勇さんに8年余り同行取材した著者による写真集。沖縄戦の遺品をカラーで収録し、国吉さんの活動も紹介する。

2021:4./ 93p

978-4-406-06561-0

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



のののはな通信(角川文庫 み 31-4)

三浦 しをん 著

KADOKAWA

ミッション系のお嬢様学校に通う、クールで毒舌なののと、天真爛漫なはな。親友同士となった2人だが、のののはなに友情以上の気持ちを抱き…。一生の恋の物語を、1984?2011年の往復書簡形式で紡ぐ。

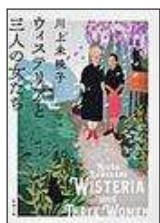
2021:6./ 525p

978-4-04-111067-6

本体 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



ウイステリアと三人の女たち(新潮文庫 か-64-4)

川上 未映子 著

新潮社

真夜中、解体されゆく家へ入りこんだわたしに、女たちの失われた時がやってくる。三月の死、愛おしい生のきらめき、ほんとうの名前、めぐりあう記憶…。人生のエピファニーを鮮やかに掬いあげる。全4編を収録。

2021:5./ 190p

978-4-10-138864-9

本体 ¥539〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



日本の道化師～ピエロとクラウンの文化史～(平凡社新書 974)

大島 幹雄 著

平凡社

道化師を意味する言葉として、日本では“クラウン”ではなく“ピエロ”が定着したのはなぜか。クラウンは日本でいかに受けとめられてきたか。サーカス研究の第一人者が、日本における「道化師」の歴史をたどる。

2021:5./ 247p

978-4-582-85974-4

本体 ¥968〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



デリバリーぶた

加藤休ミ 著

偕成社

デリバリーぶたは、食べ物を配達するぶた。海の上で漁師が「焼いた肉が食べたいな」と言うと、空から「デリバリーぶた!」と声がした。「おまちどおさま?」と言いながらデリバリーぶたが現れ、漁師にやきとりを届け…。

2021:6./ 32p

978-4-03-350130-7

本体 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



動物なぜなに質問箱

小菅 正夫／あべ 弘士 著

講談社

大きい動物はどうやって寝るの? 動物にも性格の違いってある? 子どもの「なぜ?」に、旭山動物園の元園長・小菅正夫と、元飼育係・あべ弘士がズバリ答えます。2019年7月に開催された質問会の内容をもとに構成。

2021:4./ 63p

978-4-06-516872-1

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/06/26



帰れ野生のロボット

ピーター・ブラウン 著

福音館書店

破壊された「野生のロボット」ロズは、無人島をあとにした。むかった先は人間社会。ロズは生きのびることができるのか？ 前作「野生のロボット」に続き、自然と科学、人間社会のあり方についての問いかけに満ちた物語。

朝日新聞 2021/06/26

2021.5./ 319p

978-4-8340-8521-1

本体 ¥2,200〔税込〕



ひきなみ

千早 茜 著

KADOKAWA

瀬戸内の島で小学校最後の年を過ごすことになった葉。からかう男子から守ってくれたことを機に、同級生の真以に心を寄せ始めるが、真以は何も告げずに脱獄犯の男と姿を消し…。『小説野性時代』連載に加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2021/06/26

2021.4./ 261p

978-4-04-110855-0

本体 ¥1,760〔税込〕



人びとのなかの冷戦世界～想像が現実となるとき～

益田 肇 著

岩波書店

冷戦とは何だったのか。現実には人びとにどのように想像され、どのように新しい現実をつくり出したのか。無数の名もなき人びとの日常的な想像、その行為の連鎖、そして現実政治との影響関係から、冷戦初期の歴史を描きなおす。

朝日新聞 2021/06/26

2021.4./ 8p,351p,74p

978-4-00-024543-2

本体 ¥5,500〔税込〕



無と意識の人類史～私たちはどこへ向かうのか～

広井 良典 著

東洋経済新報社

新型コロナウイルスの出現、大規模災害をもたらす気候の激変と温暖化、グローバル資本主義による格差と分断…。「定常化」に向かう今、人類が「無」をどう捉えてきたかを遡りつつ、世界観、生命観、死生観のあり方を問い直す。

朝日新聞 2021/06/26

2021.5./ 279p

978-4-492-22398-7

本体 ¥1,980〔税込〕



渡邊白泉の一〇〇句を読む(俳句と生涯)

川名 大 著

飯塚書店

戦後、ながらく俳壇から忘れ去られていたが、今、新たに脚光を浴びている俳人・渡邊白泉。鋭い感覚と卓越した想像力をもとに、多彩なレトリックや文体を駆使した白泉の、生涯と代表句を詳細に読み解く。

朝日新聞 2021/06/27

2021.6./ 239p

978-4-7522-2081-7

本体 ¥1,760〔税込〕



破天荒

高杉 良 著

新潮社

19歳で石油化学業界紙記者となった青年は、高度成長の只中で企業トップや官僚と互角に渡り合っていく…。裏も表も知り尽くした著者の自伝的経済小説。『小説新潮』掲載を単行本化。幻の処女作「自轉車」も特別収録。

東京・中日新聞 2021/06/06、読売新聞 2021/06/20

2021.4./ 249p

978-4-10-454707-4

本体 ¥1,760〔税込〕





料理に対する「ねばならない」を捨てたら、うつ病の自分を受け入れられた。

阿古 真理 著

幻冬舎

36 歳、うつ発症。料理ができなくなった食文化のジャーナリストが発見した 22 のことは…。自身のうつ体験を、回復の手助けになった料理を通して描く。『幻冬舎 plus』連載を書籍化。

2021.4./ 177p

978-4-344-03781-6

本体 ¥1,540〔税込〕



東京・中日新聞 2021/06/06、日本経済新聞 2021/06/12



コロナ時代のパンセ～戦争法からパンデミックまで 7 年間の思考～

辺見 庸 著

毎日新聞出版

人間とはなんであり、果たして、なんであるべきなのか？ コロナ時代に入って変貌する世界を、日常の喪失、貧困の露出、統制の強化など、人倫の深みからの観点で描き尽くす。『生活と自治』連載を再構成。

2021.4./ 283p

978-4-620-32683-2

本体 ¥1,980〔税込〕



東京・中日新聞 2021/06/13



おとなになってはみたけれど

飛田和緒 著

扶桑社

ちよっぴりあがいてはいるけれど、年を重ねるのは楽しい。海辺の家に住む料理家が、仕事のこと、食べ物のこと、おしゃれのこと、年を重ねた今だから思うこと、日々のことを綴る。『ecomom』掲載ほかを加筆し書籍化。

2021.3./ 205p

978-4-594-08738-8

本体 ¥1,650〔税込〕



東京・中日新聞 2021/06/13



北極探検隊の謎を追って～人類で初めて気球で北極点を目指した探検隊はなぜ生還できなかったのか～

ベア・ウースマ 著

青土社

気球での北極横断を計画し、無人島・クヴィット島で全滅したアンドレー探検隊。彼らの死因は何だったのか。これまで見過ごされてきた事実をつきとめ、新たな仮説を立てるに至った、15 年以上にわたる調査研究の成果をまとめる。

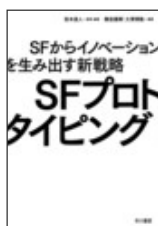
2021.3./ 305p, 11p

978-4-7917-7357-2

本体 ¥2,420〔税込〕



東京・中日新聞 2021/06/13、朝日新聞 2021/06/26



SF プロトタイピング～SF からイノベーションを生み出す新戦略～

宮本 道人／難波 優輝／大澤 博隆 著

早川書房

SF を通じて未来をプロトタイプし、そこからの逆算＝バックキャストで製品開発や組織変革の突破口を開く。「SF プロトタイピング」を実践してきた人々による座談会と論考で、その最前線に迫る。

2021.6./ 281p

978-4-15-210026-9

本体 ¥1,980〔税込〕



東京・中日新聞 2021/06/19



分子調理の日本食(Make:Japan Books)

石川伸一／石川繭子／桑原 明 著

オライリー・ジャパン

新たな調理方法と調理を分子レベルから開発する「分子調理法」を、身近な日本食に応用。「ゲル化」「熱ゲル化」「泡化、炭酸化」「架橋化」「乳化」等の技術を使って作り出したレシピと、その背景の「分子調理学」を解説する。

2021.4./ 153p

978-4-87311-948-9

本体 ¥2,640〔税込〕



東京・中日新聞 2021/06/19



一度きりの大泉の話

萩尾 望都 著

河出書房新社

約 50 年前、漫画家・竹宮恵子や彼女のブレインと共同生活をしていた練馬区大泉。当時の“出会いと別れ”を、現在の心境もこめて書き下ろした 70 年代回想録。未発表スケッチも多数収録。

東京・中日新聞 2021/06/20

2021:4./ 350p

978-4-309-02962-7

本体 ¥1,980〔税込〕



あの人が好きって言うから...有名人の愛読書 50 冊読んでみた

ブルボン 小林 著

中央公論新社

芦田愛菜、堺雅人、菅義偉、藤井聡太など、俳優やアーティスト、政治家ら計 50 人の「愛読書」を読み、なぜあの有名人がその本を好きなのか考察。各回に死後くんの似顔絵も掲載する。『女性自身』連載を加筆し書籍化。

東京・中日新聞 2021/06/20

2021:5./ 220p

978-4-12-005432-7

本体 ¥1,320〔税込〕



アクセサリーの考古学～倭と古代朝鮮の交渉史～(歴史文化ライブラリー 522)

高田 貫太 著

吉川弘文館

冠、耳飾り…。古墳時代、日本列島では貴金属のアクセサリーが流行した。朝鮮半島から贈られた品々には、いかなる意図が込められていたのか。発掘されたアクセサリーを紹介しつつ、身につけた人びとの群像を活写する。

東京・中日新聞 2021/06/20

2021:5./ 9p,273p

978-4-642-05922-0

本体 ¥1,980〔税込〕



百合中毒

井上 荒野 著

集英社

25 年ぶりに父親が戻ってきた。イタリア人の若い女と恋仲になり、家族を捨てて出ていった男が。娘たちは大人になり、妻にはすでに恋人がいるというのに…。愛を問い直す長編小説。『小説すばる』連載を加筆し単行本化。

東京・中日新聞 2021/06/20

2021:4./ 186p

978-4-08-771750-1

本体 ¥1,650〔税込〕



ジュリーの世界

増山 実 著

ポプラ社

かつて京都に「河原町のジュリー」と呼ばれるホームレスがいた。無数の視線に晒されても悠然と目抜き通りの真ん中を歩き、商店街の一等地で眠る。彼はいったい何者か？ 京都の路上に生きた、伝説の男の物語。

東京・中日新聞 2021/06/26

2021:4./ 325p

978-4-591-17006-9

本体 ¥1,870〔税込〕



訴歌～あなたはきっと橋を渡って来てくれる～

阿部 正子 編

皓星社

ある日突然隔離されたハンセン病療養者たちの命の一行詩。「ハンセン病文学全集」から抜粋した短歌・俳句・川柳を、詩情や日常生活語といった約千の小見出しで分類して収録する。

東京・中日新聞 2021/06/27

2021:5./ 301p

978-4-7744-0741-8

本体 ¥1,980〔税込〕





女ふたり、暮らしています。

キム・ハナ／ファン・ソヌ 著

CCCメディアハウス

単なるルームメイトでも、恋人同士でもない。一人暮らしに孤独や不安を感じはじめたふたりは、尊敬できて気の合う相手を人生の「パートナー」に選んだ。女ふたりと猫 4匹の愉快的な生活を綴る。

東京・中日新聞 2021/06/27

2021:3./ 334p

978-4-484-21103-9

本体 ¥1,650〔税込〕



尊皇攘夷～水戸学の四百年～(新潮選書)

片山 杜秀 著

新潮社

日本を近代国家に導いた「尊皇」感情の起点はどこにあるのか? 「水戸黄門」徳川光圀から三島由紀夫の自決まで。近代の夜明けを齎した熱病のごときナショナリズムの源流をすべて解き明かす。『新潮 45』他連載を加筆・改題。

東京・中日新聞 2021/06/27

2021:5./ 476p

978-4-10-603868-6

本体 ¥2,200〔税込〕



銃口<下>(角川文庫)

三浦 綾子 著

角川書店

竜太は治安維持法の容疑で拘留。直後、招集された。45年、8月15日満州から朝鮮へと敗走中、民兵から銃口をつきつけらる。――

読売新聞 2021/06/06

2009:8./ 418p

978-4-04-143726-1

本体 ¥704〔税込〕



銃口<上>(角川文庫)

三浦 綾子 著

角川書店

昭和2年、旭川の小学生竜太は、担任に憧れる。成長し、教師になるが、理想の教育に燃える彼を阻むものは、軍国主義の勢いであった。軍旗はためく昭和を背景に戦争と人間の姿を描いた感動の名作。

読売新聞 2021/06/06

2009:8./ 440p

978-4-04-143725-4

本体 ¥704〔税込〕



灯台へ(岩波文庫)

ヴァージニア・ウルフ、御輿哲也 著

岩波書店

読売新聞 2021/06/06

2004:12./ 400p

978-4-00-322911-8

本体 ¥1,122〔税込〕



ダロウェイ夫人(光文社古典新訳文庫)

ウルフ、土屋 政雄 著

光文社

読売新聞 2021/06/06

2010:5./ 377p

978-4-334-75205-7

本体 ¥858〔税込〕



敦煌 改版(新潮文庫 い-7-4)

井上 靖 著

新潮社

読売新聞 2021/06/06

2009:12./ 307p

978-4-10-106304-1

本体 ¥649〔税込〕





街の公共サインを点検する～外国人にはどう見えるか～

本田 弘之、岩田 一成、倉林 秀男 著
大修館書店

「ことば」の専門家たちが、街の公共サイン(案内標識や看板など)を「外国人ユーザー」の立場から検証。海外の例を多数紹介しながら日本のサインが抱える問題点を指摘し、改善策を提案する。

2017:7./ 10p,204p

978-4-469-21365-2

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



寿命遺伝子～なぜ老いるのか何が長寿を導くのか～(ブルーバックス B-2166)

森 望 著
講談社

たったひとつの遺伝子が人生の長さを変えたとしたら? 各国の叡智による、熾烈な遺伝子獲得競争をスリリングに描きながら、「老化」のプロセスの中でのそれぞれの遺伝子の役割や意義を解説する。

2021:3./ 270p

978-4-06-522912-5

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



AI・兵器・戦争の未来

ルイス・A・デルモンテ 著
東洋経済新報社

戦争において人工知能の役割はこれまで以上に増大する。21 世紀の戦場を支配することになる自律型兵器、全能兵器を検討。これらの兵器が生み出す倫理的葛藤と人類への潜在的脅威について論じる。

2021:3./

12p,440p,52p

978-4-492-44459-7

本体 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



日本語とにらめっこ～見えないぼくの学習奮闘記～

モハメド・オマル・アブディン／河路 由佳 著
白水社

鍼灸を学ぶためにスーダンからやってきた全盲の青年は、どうやって日本語を身につけたのか。本を読むことすらできなかった彼が、日本語の書き手になるまでの苦闘を語る。テキストデータ引換券付き。

2021:4./ 217p

978-4-560-08898-2

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



日本疫病図説～絵に込められた病魔退散の祈り～

畑中章宏 著
笠間書院

感染症と闘い、時には共存していくために生み出された、日本の疫病芸術。それらを古代・中世の歴史と信仰からたどりなおすとともに、隣接する文化として社寺の祭礼や授与品、郷土玩具なども紹介する。

2021:5./ 118p

978-4-305-70940-0

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



「敦煌」と日本人～シルクロードにたどる戦後の日中関係～(中公選書 117)

榎本 泰子 著
中央公論新社

1980 年代にわき起こった空前のシルクロードブーム。日本人が大陸に寄せたロマンとは何か。あの熱狂はなぜ生まれ、なぜ消えたのか。日本人の心の中の中国をあぶりだし、日中関係のこれからを考える。

2021:3./ 7p,324p

978-4-12-110117-4

本体 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



書評七福神が選ぶ、絶対読み逃さない翻訳ミステリベスト<2011-2020>

杉江松恋／川出正樹／北上次郎／酒井貞道／霜月蒼／千街晶之／吉野仁 著
書肆侃侃房

翻訳ミステリが好きでたまらない書評家 7 人によるミステリ好きのための書評本。ステイヴン・キング、ピエール・ルメートルなど、2011 年?2020 年に 7 人が選んだ翻訳ミステリ 520 作品を紹介する。

2021.5./ 335p

978-4-86385-462-8

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



バッハ(作曲家・人と作品)

久保田 慶一 著

音楽之友社

年俸 220 ターラー(約 190 万円)で「毎月 1 曲の新作」が任務。音楽家としての理想の追求と同時に経済的な安定を志向し、キャリア選択や息子の教育に悩み…。バッハの 65 年に及んだ生涯と創作について概説する。

2021.4./ 267p,69p

978-4-276-22172-7

本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



ロシアドイツ人～移動を強いられた苦難の歴史～

鈴木 健夫 著

亜紀書房

18 世紀末、ロシアに渡り農業で繁栄したドイツ人移民たちは、ロシアの体制変化の中で権力を奪われていく。権力に翻弄されながら悲劇を生き抜き、やがて世界各国へ再移住していった人々の姿を、鮮やかに描き出す。

2021.3./ 542p

978-4-7505-1680-6

本体 ¥6,160〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



21 世紀の恋愛～いちばん赤い薔薇が咲く～

リーヴ・ストロームクヴィスト 著

花伝社

レオナルド・ディカプリオはなぜ若いモデルや女優と付き合っては別れを繰り返すのか。そんな疑問を糸口に、現代社会における恋愛について、古典哲学や現代思想、神話を取り混ぜて考察するフェミニズムギャグコミック。

2021.2./ 187p

978-4-7634-0954-6

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



空よりも遠く、のびやかに(集英社文庫 か 49-8)

川端 裕人 著

集英社

高校の入学式で瞬が一目惚れをした花音は、元ユース・クライマー。今は地学オリンピックを目指す花音に誘われ地学部に入ったのに、瞬はクライミングで五輪を目指すことに! しかし、世界は未知のウイルス蔓延に襲われ…。

2021.5./ 457p

978-4-08-744254-0

本体 ¥924〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



音又(文春文庫 た 106-1)

高見澤 俊彦 著

文藝春秋

大学生の雅彦は友人たちとバンドを結成。一方で学生運動に染まる才女や、グラマーな同級生たちとの恋模様に翻弄されていた。しかし、思いがけない悲劇で夢か友情かの決断を迫られ…。短編も収録。エッセイを加えて文庫化。

2021.4./ 309p

978-4-16-791673-2

本体 ¥847〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



つまらない住宅地のすべての家

津村記久子 著

双葉社

静かに並ぶ住宅地の家々。ある出来事をきっかけに、それぞれの家の、それぞれの事情が見えてきて…。日々いろいろな思いを抱えて暮らす人々を、たくみな構成と描写で浮き彫りにした長編小説。『小説推理』連載を単行本化。

2021:3./ 238p

978-4-575-24385-7

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



大聖堂(村上春樹翻訳ライブラリー)

レイモンド・カーヴァー、村上 春樹 著

中央公論新社

一級の文学としての深みと品位をそなえた粒ぞろいの名篇を収録した、成熟期の風格漂う、レイモンド・カーヴァーの短編集。表題作に加え、「ぼくが電話をかけている場所」「ささやかだけれど、役にたつこと」ほか全12編収録。

2007:3./ 431p

978-4-12-403502-5

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



令和元年のテロリズム

磯部 涼 著

新潮社

川崎殺傷事件、京都アニメーション放火殺傷事件…。『令和』の幕開けに日本を震撼させた事件を徹底的に追い、現代の「風景」を読む。東池袋自動車暴走死傷事件に始まる高齢ドライバー問題も掲載。『新潮』連載を加筆し書籍化。

2021:3./ 222p

978-4-10-353871-4

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



ワイトゲンシュタイン家の人びと～闘う家族～(中公文庫 ウ 12-1)

アレグザンダー・ウォー 著

中央公論新社

音楽への異様な執着、兄たちの相次ぐ自殺、そしてナチとの攻防…。後の天才哲学者ルートヴィヒと、「片腕のピアニスト」として名を馳せた兄パウルを中心に、不屈の精神で荒波に挑んだワイトゲンシュタイン家の100年を描く。

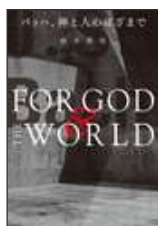
2021:4./ 571p

978-4-12-207053-0

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



バッハ、神と人のはざままで

鈴木 雅明 著

音楽之友社

作曲家自身を超え、より崇高な価値へと世界中で再創造され続けるバッハの音楽。バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)音楽監督が楽譜と睨み合い、心に去来した様々な断片を集成。BCJ 定期演奏会プログラム巻頭言を再構成。

2021:4./ 255p

978-4-276-13019-7

本体 ¥2,860〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



かわいいウルフ

小澤 みゆき 著

亜紀書房

モダニズム文学の旗手、フェミニスト、レズビアン…文学史の中で燦然と輝くヴァージニア・ウルフの魅力を伝えるファンブック。作品解説、エッセイ、インタビュー、翻訳、まんが等を収録。同名同人誌をアップデートして書籍化。

2021:3./ 293p

978-4-7505-1690-5

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/06/06



後期中戦争～太平洋戦争下の中国戦線～(角川新書 K-354)

広中 一成 著

KADOKAWA

真珠湾攻撃の裏で起きていた敗北…。太平洋戦争開戦後、日本軍は中国でどのような作戦を展開していたのか？ その成否は？ 主要作戦に従軍し続けた名古屋第三師団の軌跡から泥沼の戦いとなった中国戦線の実像を描く。

2021:4./ 277p

978-4-04-082366-9

本体 ¥1,012〔税込〕



読売新聞 2021/06/06、朝日新聞 2021/06/12



岸恵子自伝～卵を割らなければ、オムレツは食べられない～

岸 恵子 著

岩波書店

戦争体験、女優デビュー、国際結婚、夫イヴ・シャンピと過ごした日々、娘デルフィーヌの逞しい成長への歓びと哀しみ…。岸恵子とその複雑たる人生を、川端康成、市川崑ら文化人・映画人たちとの交流なども織り交ぜ、綴る。

2021:4./ 8p,337p,4p

978-4-00-061465-8

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/06/06、朝日新聞 2021/06/19



イグアナの娘(小学館文庫)

萩尾 望都 著

小学館

生まれてきたのは、イグアナの姿をした女の子！！ 親子の葛藤と愛憎をシュールな心象で描く異色短編集。

2000:11./ 230p

978-4-09-191381-4

本体 ¥565〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



ムーミン谷の仲間たち(講談社文庫 や 16-14)

トーベ・ヤンソン 著

講談社

読売新聞 2021/06/13

2011:7./ 282p

978-4-06-276937-2

本体 ¥693〔税込〕



小説神髓 改版(岩波文庫)

坪内 逍遙 著

岩波書店

読売新聞 2021/06/13

2010:6./ 276p

978-4-00-310041-7

本体 ¥770〔税込〕



書(そら)へ～佐藤庫之介書論集～

佐藤庫之介書論集刊行委員会 編

中西出版

北海道内の書世界において先端的な批評活動に熱を注入してきた佐藤庫之介の書論集。北海道書道史に関する文章、書人論、ジャーナル紙での仕事など、膨大な量の批評文を整理分類し、集録する。

2021:5./ 435p

978-4-89115-395-3

本体 ¥4,180〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



教会と千歳飴～日本文化、知恵の創造力～

上野 誠 著

小学館

万葉学の第一人者による、「国の基を究める」本。多様な選択肢の中から米と魚を選んだ日本人、日本の「何でも教」の世界、妙なる日本のおもてなし、東アジア隣国の付き合い方などについて語る。

読売新聞 2021/06/13

2021:4./ 270p

978-4-09-388815-8

本体 ¥1,320〔税込〕



少年愛文学選(平凡社ライブラリー 917)

高原 英理 編

折口信夫、稲垣足穂ほか 著

平凡社

明治末から昭和半ばにかけて、国家的暴力・家父長的暴力へのアンチテーゼとして生まれた少年愛の文学。その系譜を江戸川乱歩、川端康成、中井英夫ら男性作家15人の作品で編み出すアンソロジー。

読売新聞 2021/06/13

2021:4./ 423p

978-4-582-76917-3

本体 ¥1,980〔税込〕



国家の尊厳(新潮新書 908)

先崎 彰容 著

新潮社

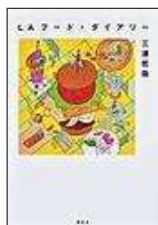
誇りある国として、生き延びるために。国内では歴代最長政権が終焉し、世界では未知のウイルスが拡散する現代社会をどう理解したらよいのかを論じ、新たな国家像、「令和日本のデザイン」を提言する。

読売新聞 2021/06/13

2021:5./ 251p

978-4-10-610908-9

本体 ¥880〔税込〕



LA フード・ダイアリー

三浦 哲哉 著

講談社

季節のない寿司、カナダの自然食、映画と牛の関係…。大学教員として働く映画研究者が、ロサンゼルスで、2019年4月から2020年3月までの1年間、体験して考えた記録。『群像』連載を書籍化。

読売新聞 2021/06/13

2021:2./ 263p

978-4-06-522134-1

本体 ¥1,870〔税込〕



アウシュヴィッツで君を想う

(株)アマナ/エディ・デ・ウィンド 著

早川書房

1943年9月、アウシュヴィッツ強制収容所に送られた夫婦は離ればなれになってしまう。それでも…。有刺鉄線の内側で妻を想い続けた医師が、第二次世界大戦が終わる直前の収容所内で綴った貴重な手記。

読売新聞 2021/06/13

2021:4./ 274p

978-4-15-210013-9

本体 ¥2,200〔税込〕



夜と霧 新版

ヴィクトール・E.フランクル 著

みすず書房

心理学者、強制収容所を体験する。飾りのないこの原題から、永遠のロングセラーは生まれた。原著の改訂版である1977年版にもとづき、新たな訳者で新編集。人間の偉大と悲慘をあますところなく描く。

読売新聞 2021/06/13

2002:11./ 169p

978-4-622-03970-9

本体 ¥1,650〔税込〕





古代エジプト全史

河合 望 著

雄山閣

旧石器時代から、紀元後 4 世紀にキリスト教が普及した時代までのエジプトの歴史を、世界の最新研究成果を網羅し、時代順にわかりやすく解説する。読者限定の連動 WEB サイトにアクセスできる QR コード付き。

2021.5./ 10p,295p 図

版 16p

978-4-639-02763-8

本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



英文学者坪内逍遙

亀井 俊介 著

松柏社

人文学の危機が叫ばれる昨今。「融会自在」な学風を打ち立てた坪内逍遙の英文学活動は、学ぶべきところ無限にあるように思える。英文学者としての坪内逍遙の代表的な翻訳や著作を読み直し、検討・評価する。

2021.4./ 205p

978-4-7754-0276-4

本体 ¥2,750〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



飛ぶ教室(新潮文庫 ケ-17-1)

エーリヒ・ケストナー 著

新潮社

波瀾万丈のクリスマス劇「飛ぶ教室」の稽古に励む、寄宿学校の少年たち。ある日、マルティンに母親から手紙が届く。そこにはマルティンが帰省する旅費を工面できなかったと書かれており…。少年たちの成長の物語。

2014.12./ 223p

978-4-10-218641-1

本体 ¥539〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



和食文化学入門

佐藤 洋一郎／母利 司朗／平本 毅 編

佐藤 洋一郎／母利 司朗 著

臨川書店

「作る」「食べる」「通わせる」の 3 つのテーマ別に、文系・理系の枠を取り払い、さらには学術・実践の壁を越えて、「和食」という営みの総体を捉える「和食文化学」の試み。これから和食文化を学ぶ人に最適な書。

2021.3./ 329p,4p

978-4-653-04429-1

本体 ¥3,080〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



裸足で逃げる～沖縄の夜の街の少女たち～(at プラス叢書 16)

上間 陽子 著

太田出版

沖縄の風俗業界で働く女性たちの調査の記録。家族や恋人や知らない男たちから暴力を受けて育った少女たちが、そこから逃げて、自分の居場所をつくりあげるまでを綴る。『at プラス』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2017.2./ 260p

978-4-7783-1560-3

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



みたび!女のはしより道(講談社文庫 い 134-3)

伊藤 理佐 著

講談社

「何もしない美容法」を試したり、はしよりすぎて美容が「人ごと」になったり、たまに「女」をまたいじったり…。ラクしたい、だけどキレイを捨てきれない。そんな女ゴコロ満載の、ぐーたらビューティエッセイ漫画第 3 弾。

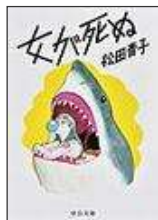
2021.5./ 132p

978-4-06-523069-5

本体 ¥638〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



女が死ぬ(中公文庫 ま 51-2)

松田 青子 著
中央公論新社

「女らしさ」が、全部だるい。好きに太って、?せて、がははと笑い、グロテスクな自分も祝福する。一話読むたび心の曇りが磨かれる、シャーリー・ジャクソン賞候補作「女が死ぬ」を含む 53 の掌篇集。著者ひと言解説付き。

2021.5./ 218p
978-4-12-207070-7
本体 ¥726〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



ぐるり

高橋 久美子 著
筑摩書房

夫婦、友達、親子。この地球に生きる私達の日常は奇跡のような出会いとすれ違いの積み重ねでできている。作家、詩人、作詞家として活躍する著者が綴る全 19 篇の初短編集。『web ちくま』連載に書下ろしを加えて書籍化。

2021.4./ 213p
978-4-480-80502-7
本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



魔軍跳梁赤江瀑アラベスク<2>(創元推理文庫 F あ 2-2)

東 雅夫 編
赤江 瀑 著
東京創元社

幻想小説の巨匠・赤江瀑の多彩な業績を精選。2 は、過去の愛憎への妄執と極限の恋を描いた「花曝れ首」、幼なじみ 2 人を結ぶ絆と相克を描く「隠れ川」など、多数の未文庫化を含む幻想怪奇短編 17 編に、エッセイ 14 編を併載。

2021.4./ 563p
978-4-488-50505-9
本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



児童文学の中の家

深井 せつ子 著
エクスナレッジ

子どもの頃に読んだ物語の主人公は、どんな家に住んでいたのでしょうか? 「ピーター・パン」「飛ぶ教室」「赤毛のアン」...。ファンタジーから寓話や童話、探偵小説まで、27 の名作に登場する家や住まいを絵本作家が案内する。

2021.4./ 149p
978-4-7678-2868-8
本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/06/13



探究する精神〜職業としての基礎科学〜(幻冬舎新書 お-13-4)

大栗 博司 著
幻冬舎

少年時代の本との出会い、武者修行の日々、若手研究者の育成にも尽力する現在...。世界で活躍する物理学者がこれまでの半生を振り返りながら、基礎科学の意義、科学と社会の関係などを綴る。

2021.3./ 320p
978-4-344-98614-5
本体 ¥1,056〔税込〕



読売新聞 2021/06/13、朝日新聞 2021/06/19



日本で働く〜外国人労働者の視点から〜

伊藤 泰郎／崔 博憲／四方 久寛 著
松籟社

外国人労働者の目に、縮小する現代日本はどのように映っているのか。技能実習生や日系人たちをとりあげ、統計、聞き取り、支援活動の経験から「向う側」の視点にせまり、外国人労働者との関係を見つめなおす。

2021.3./ 443p
978-4-87984-384-5
本体 ¥2,860〔税込〕



読売新聞 2021/06/13、日本経済新聞 2021/06/19



侍女物語(ハヤカワepi文庫)
マーガレット・アトウッド、斎藤 英治 著
早川書房
読売新聞 2021/06/20

2001:10./ 573p
978-4-15-120011-3
本体 ¥1,320〔税込〕
* 9 7 8 4 1 5 1 2 0 0 1 1 3 *



探偵はここにいる
森 秀治 著
駒草出版
探偵たちが語る、実際の現場で起きているノンフィクション。人の裏側を日常的に見ている探偵の目を通して、生々しい人間の営み、欲望と理性の狭間で起こる葛藤、表面化されていない社会の歪に迫る。

2021:4./ 350p
978-4-909646-39-2
本体 ¥1,650〔税込〕
* 9 7 8 4 9 0 9 6 4 6 3 9 2 *

読売新聞 2021/06/20



琥珀捕り(創元ライブラリ Lカ2-2)
キアラン・カーソン 著
東京創元社
A(対蹠地(アンチポーズ))から Z(回転のぞき絵(ゾエトロウブ))までの一見無関係な単語にまつわる、26の物語を収める。それぞれの物語は登場する言葉やイメージによって次々と別の物語に飛躍する。

2021:5./ 459p
978-4-488-07082-3
本体 ¥1,650〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 8 0 7 0 8 2 3 *

読売新聞 2021/06/20



キツネ目～グリコ森永事件全真相～
岩瀬 達哉 著
講談社
約1年半に及ぶグリコ森永事件の全過程をたどり直し、知られざる事件構造を解明。犯人グループのリーダー・キツネ目の男の素顔と属性、グループのメンバーについて描く。『週刊現代』連載をベースに単行本化。

2021:3./ 317p
978-4-06-523129-6
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 3 1 2 9 6 *

読売新聞 2021/06/20



少しぐらいの?は大目に～向田邦子の言葉～(新潮文庫 む-3-21)
碓井 広義 編
向田 邦子 著
新潮社
「阿修羅のごとく」「あ・うん」「寺内貫太郎一家」...傑作ドラマの脚本家、名エッセイスト、直木賞作家であった向田邦子。没後40年、今なお愛される達人の心揺さぶる名言・名セリフを、全作品からセレクト。

2021:4./ 244p
978-4-10-129413-1
本体 ¥605〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 1 2 9 4 1 3 1 *

読売新聞 2021/06/20



誓願
マーガレット・アトウッド 著
早川書房
ギレアデ共和国を操る権力を持つリディア、司令官の娘・アグネス、両親が何者かに爆殺されたデイジー。まったく異なる人生を歩んできた3人が出会うとき、ギレアデの命運が大きく動き始める。「侍女物語」続篇。

2020:10./ 599p
978-4-15-209970-9
本体 ¥3,190〔税込〕
* 9 7 8 4 1 5 2 0 9 9 7 0 9 *

読売新聞 2021/06/20



扉はひらくいくたびも～時代の証言者～

竹宮 恵子／知野 恵子 著

中央公論新社

生い立ち、葛藤に直面した青春時代、名作「風と木の詩」「地球へ…」創作秘話、マンガを学問として追究、学生へ指導…。漫画家・竹宮恵子が時代と共に駆け抜けた、その半生を語る。『読売新聞』連載を加筆、再構成。

2021.3./ 219p

978-4-12-005412-9

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/06/20



大宅壮一文庫解体新書～雑誌図書館の全貌とその研究活用～

阪本 博志 編

勉誠出版

昭和を代表する評論家・ジャーナリスト、大宅壮一が収集した膨大な雑誌のコレクションを基礎として設立された大宅壮一文庫。2021 年に開設から 50 年を迎える文庫の誕生と歴史、所蔵資料と活用法などを解説する。

2021.5./ 12p,257p

978-4-585-30001-4

本体 ¥3,850〔税込〕



読売新聞 2021/06/20



言いなりにならない江戸の百姓たち～「幸谷村酒井家文書」から読み解く～

渡辺 尚志 著

文学通信

江戸の百姓は、言うべきことは敢然と自己主張する人たちだった！江戸時代の下総国葛飾郡幸谷村(現千葉県松戸市幸谷)に生きた百姓たちの実像を、「幸谷村酒井家文書」に基づいて描き出す。古文書の読み方も解説。

2021.5./ 164p

978-4-909658-56-2

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/06/20



私たちはどこにいるのか?～政治としてのエビデミック～

ジョルジョ・アガンベン 著

青土社

コロナ時代において、主権的権力はいかに<例外状態>を継続させようとしているのか。自由や安全の意味は、いかなる変容を遂げているのか。2020 年 2 月末以降に、新聞や出版社サイトに掲載した諸論考をまとめる。

2021.2./ 239p

978-4-7917-7361-9

本体 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2021/06/20



冤罪と人類～道徳感情はなぜ人を誤らせるのか～(ハヤカワ文庫 NF 574)

管賀 江留郎 著

早川書房

すべての悲劇の原因は、人間の正しい心だった！戦時の難事件「浜松事件」を解決した名捜査官が戦後に起こした冤罪事件の内の一つ「二俣事件」。彼に立ち向かった刑事が遺した書から、昭和史の裏に隠された謎を解明する。

2021.4./ 686p

978-4-15-050574-5

本体 ¥1,364〔税込〕



読売新聞 2021/06/20



平場の月

朝倉 かすみ 著

光文社

病院の売店で再会した、元男子の青砥と元女子の須藤。50 年生きてきた男と女には、老いた家族や過去もあり…。心のすき間を埋めるような感情のうねりを、求めあう熱情を、生きる哀しみをしみじみと描く、大人の恋愛小説。

2018.12./ 245p

978-4-334-91256-7

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/06/20



ブルーもしくはブルー 改版(角川文庫 や 28-2)

山本 文緒 著

KADOKAWA

誰もが羨む暮らしを送りながらも、満ち足りぬ思いを抱えている蒼子は、偶然、昔の恋人・河見を見かける。彼に寄り添っていたのは自分そっくりの、もう 1 人の「蒼子」。互いへの好奇心と羨みから、1 カ月だけ入れ替わるが...

2021.5./ 270p

978-4-04-111394-3

本体 ¥704〔税込〕



読売新聞 2021/06/20



ダンス・イン・ザ・ファーム～周防大島で坊主と農家と他いろいろ～

中村明珍 著

ミシマ社

ロックバンドで活動したのち、2013 年に山口県周防大島に移住して...。農業をしながら僧侶として暮らす著者が、切実でおかしみあふれる日々を綴る。『みんなのミシマガジン』『ちゃぶ台』連載を加筆修正、再構成し書籍化。

2021.3./ 300p

978-4-909394-47-7

本体 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2021/06/20



小説 8050

林 真理子 著

新潮社

完璧な人生を送っているように見える大澤正樹には秘密がある。彼の長男・翔太は 7 年間も自宅に引きこもっていた。娘が相手家族に結婚を反対されたことから正樹は息子と向き合う決意をするが...。『週刊新潮』連載を加筆・改稿。

2021.4./ 397p

978-4-10-363111-8

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/06/20



身近な雑草たちの奇跡～道ばた、空き地、花壇の隅...気づけばそこにいる植物の生態～

森 昭彦 著

SBクリエイティブ

わたしたちの足元は、驚くほどの美と生命活動に溢れている。道ばたや空き地でたくましくも小さな花や実をつける雑草たち、恐るべき進化を遂げた雑草たちの神秘、寄生で奇妙で無精な植物などを、カラー写真とともに紹介する。

2021.3./ 295p

978-4-8156-0616-9

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/06/20



犬神家の一族 改版(角川文庫)

横溝 正史 著

角川書店

信州財界一の巨頭、犬神財閥の創始者犬神佐兵衛は、血で血を洗う葛藤を予期したかのような条件を課した遺言状を残して他界した。血の系譜をめぐるスリルとサスペンスにみちた長編推理。

1996.1./ 414p

978-4-04-130405-1

本体 ¥748〔税込〕



読売新聞 2021/06/27



八つ墓村 改版(角川文庫)

横溝 正史 著

角川書店

鳥取と岡山の県境の村、かつて戦国の頃、三千両を携えた八人の武士がこの村に落ちのびた。欲に目が眩んだ村人たちは八人を惨殺。以来この村は八つ墓村と呼ばれ、怪異があいついだ.....。

1996.1./ 494p

978-4-04-130401-3

本体 ¥836〔税込〕



読売新聞 2021/06/27



悪魔の手毬唄 改版(角川文庫)

横溝 正史 著

角川書店

岡山と兵庫の県境、四方を山に囲まれた鬼首村。この地に昔から伝わる手毬唄が、次々と奇怪な事件を引き起こす。数え唄の歌詞通りに人が死ぬのだ！ 現場に残される不思議な暗号の意味は？

読売新聞 2021/06/27

1971:7./ 480p

978-4-04-130402-0

本体 ¥792〔税込〕



本陣殺人事件 改版(角川文庫)

横溝 正史 著

角川書店

一柳家の当主賢蔵の婚礼を終えた深夜、人々は悲鳴と琴の音を聞いた。新床に血まみれの新郎新婦。枕元には、家宝の名琴”おしどり”が……。密室トリックに挑み、第一回探偵作家クラブ賞を受賞した名作。

読売新聞 2021/06/27

1973:4./ 407p

978-4-04-130408-2

本体 ¥704〔税込〕



14ひきのあさごはん

いわむら かずお 著

童心社

読売新聞 2021/06/27

1983:7./ 1冊

978-4-494-00619-9

本体 ¥1,320〔税込〕



おいしいのぼうけん(絵本ぼうくたちこどもだ)

ふるた たるひ、たばた せいいち 著

童心社

さくらはいくえんにはこわいものが二つあります。ひとつはおいしいで、もうひとつはねずみばあさんです。ある日、いたずらをやめなかったさとしとあきは...

読売新聞 2021/06/27

1974:11./ 77p

978-4-494-00606-9

本体 ¥1,430〔税込〕



私の科学者ライフ～猿橋賞受賞者からのメッセージ～

女性科学者に明るい未来をの会 編

日本評論社

自然科学の分野で、優れた業績を挙げた女性科学者に贈られる「猿橋賞」。第21回から第40回までの受賞者が、続く若い研究者への指針になるよう、自身の科学者人生を語る。

読売新聞 2021/06/27

2021:3./ 7p,281p

978-4-535-78930-2

本体 ¥2,090〔税込〕



完本人形佐七捕物帳<1>

横溝正史 著

春陽堂書店

江戸を舞台に、人形のような色男である佐七が繰り広げる推理劇「人形佐七捕物帳」全180篇を発表順に集成。解題、解説付き。1 は、「羽子板娘」「座頭の鈴」「稚児地藏」などを収録。

読売新聞 2021/06/27

2019:12./ 531p

978-4-394-19010-3

本体 ¥4,950〔税込〕





日本近現代建築の歴史～明治維新から現代まで～(講談社選書メチエ 746)

日埜 直彦 著

講談社

批評家としても知られる建築家が、日本近現代建築の歴史をコンパクトかつ明快にまとめた本。それぞれの時代に何が求められ、何が考えられたのか、その背景には何があったのかを鮮やかに描き出す。

2021:3./ 419p

978-4-06-522867-8

本体 ¥2,475〔税込〕



読売新聞 2021/06/27



三省堂国語辞典 第7版

見坊 豪紀、市川 孝、飛田 良文、山崎 誠、飯間 浩明、塩田 雄大 編

三省堂

中学生から年配者、日本語学習者まで使える、最新の日本語を的確に反映した国語辞典。8万2千項目を収録し、「要するにそれは何か」が分かるように、簡潔にやさしく説明する。小型版も同時刊行。

2014:1./ 14p,1745p

978-4-385-13926-5

本体 ¥3,190〔税込〕



読売新聞 2021/06/27



江戸川乱歩作品集<1> 人でなしの恋・孤島の鬼他(岩波文庫 31-181-4)

江戸川 乱歩、浜田 雄介 編

江戸川 乱歩 著

岩波書店

日本探偵小説の開拓者にして第一人者であった江戸川乱歩の作品をテーマ別に精選。1 は、<愛のゆくえ>をテーマに、「人でなしの恋」「孤島の鬼」をはじめ、「日記帳」「接吻」など全5篇を収録する。

2017:11./ 499p

978-4-00-311814-6

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/06/27



みみをすますように

酒井駒子 著

ブルーシート

酒井駒子が絵と文を手掛けた絵本、挿絵を手掛けた絵本や書籍計25冊を選び、掲載された絵の原画約300点を収録する。2021年からPLAY!MUSEUM、横須賀美術館などで開催される個展の図録。

2021:4./ 423p

978-4-908356-21-6

本体 ¥4,180〔税込〕



読売新聞 2021/06/27



『新青年』名作コレクション(ちくま文庫 し 53-1)

『新青年』研究会 編

筑摩書房

探偵小説の牙城として江戸川乱歩をはじめ多くの作家を輩出した伝説の雑誌『新青年』の傑作集。年代別に構成し、探偵小説に限らず、評論、編集後記、戦中戦後の諸作品も多数収録。各章、各作品には解説を附す。

2021:4./ 605p

978-4-480-43730-3

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/06/27



磯崎新 Interviews

磯崎 新、日埜 直彦 著

LIXIL出版

建築・芸術・批評をめぐる闘争と展開。建築家・磯崎新がキャリアの最初期から現在までを語った、約10年にわたるインタビューを集成。インタビュアー・日埜直彦が磯崎新の全体像についてまとめた論考も収録。

2014:8./ 370p

978-4-86480-011-2

本体 ¥3,850〔税込〕



読売新聞 2021/06/27



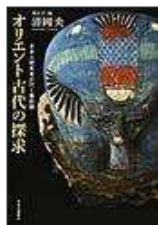
2020 年 6 月 30 日にまたここで会おう～瀧本哲史伝説の東大講義～(星海社新書 160)

瀧本 哲史 著
星海社

君たちは自分の力で、世の中を変えていけ! 2019 年に病のため天逝した瀧本哲史。ずっと若者世代である「君たち」に向けてメッセージを送り続けてきた彼の思想を凝縮した「伝説の東大講義」を一冊にまとめる。

2020:4./ 219p
978-4-06-519428-7
本体 ¥1,078〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 1 9 4 2 8 7 *

読売新聞 2021/06/27



オリエント古代の探求～日本人研究者が行く最前線～

清岡 央 編
中央公論新社

未盗掘墓発見の緊張と興奮。精緻な考古学的手法による発掘成果。文化遺産の保存・修復事業への国際的貢献…。9 人の研究者へのインタビューで、バーミヤン遺跡、サッカー遺跡など海外調査の現場をリアルに伝える。

2021:4./ 229p
978-4-12-005425-9
本体 ¥2,090〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 0 0 5 4 2 5 9 *

読売新聞 2021/06/27



東京を捨てる～コロナ移住のリアル～(中公新書ラクレ 726)

澤田 晃宏 著
中央公論新社

人気移住地はどこか? 地域おこし協力隊とは? 「コロナ移住」の当事者が、コロナ移住者や移住支援団体、地方自治体などを取材したルポルタージュ。国や自治体の補助金などの情報や、移住で直面する課題にも触れる。

2021:4./ 253p
978-4-12-150726-6
本体 ¥946〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 1 5 0 7 2 6 6 *

読売新聞 2021/06/27



毛沢東論～真理は天から降ってくる～

中兼 和津次 著
名古屋大学出版会

大躍進政策や文化大革命によって大量の犠牲者を出しながら、現在なお大陸で英雄視される稀代の指導者・毛沢東。「秦の始皇帝+マルクス」とも言われる、その思考と行動を冷静かつ大胆に分析し、現代中国の核心に迫る。

2021:4./ 6p,407p,22p
978-4-8158-1023-8
本体 ¥3,960〔税込〕
* 9 7 8 4 8 1 5 8 1 0 2 3 8 *

読売新聞 2021/06/27



雪割草(角川文庫 よ 5-42)

横溝 正史 著
KADOKAWA

突然婚約を取り消された、地元の実力者の一人娘・有為子。実の娘ではないことを知った彼女は、父の遺した手紙を頼りに上京し…。<探偵小説が禁じられた時代>に、家庭小説として地方紙に連載された横溝正史の幻の長編小説。

2021:4./ 605p
978-4-04-109300-9
本体 ¥1,276〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 1 0 9 3 0 0 9 *

読売新聞 2021/06/27



計算する生命

森田 真生 著
新潮社

計算は、生命の可能性を拡張していくのか。機械と生命の対立を越え、計算との新たな関係が形作る未来とは-。先人たちが築いた壮大な計算の成立史に吹き込まれた生命の本質に迫る画期的論考。『新潮』連載をベースに書籍化。

2021:4./ 239p
978-4-10-339652-9
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 3 3 9 6 5 2 9 *

読売新聞 2021/06/27



本の力～私の絵本制作秘話～

酒井 京子 著
童心社

3年がかりで作り出した「おいしいのぼうけん」。社内の反対にあいながら出版した「14ひきのシリーズ」…。多くの絵本・紙芝居を生み出してきた編集者であり現童心社社長の著者が、傑作絵本がいかにして誕生したかを語る。

読売新聞 2021/06/27

2021:6./ 125p
978-4-494-01740-9
本体 ¥1,650〔税込〕



もう一杯、飲む?(新潮文庫 し-21-21)

角田 光代、島本 理生、燃え殻、朝倉 かすみ、ラズウェル 細木、越谷 オサム、小泉 武夫、岸本 佐知子、北村 薫 著
新潮社

お互い恋人がいたのに「会いすぎて」しまったふたりは…。角田光代「冬の水族館」をはじめ、島本理生、越谷オサムら9人の作家が、「お酒のある風景」を紡いだ小説・エッセイ集。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加えて文庫化。

読売新聞 2021/06/27

2021:6./ 232p
978-4-10-105835-1
本体 ¥605〔税込〕



比べて楽しい国語辞書ディープな読み方～国語辞書ほど面白い遊び道具はない!～

ながさわ 著
河出書房新社

Aの辞書に出ていることばがBの辞書にないのは? かつて載っていたことばがいつのまにか消えてしまった理由は? 国語辞書16点を徹底的に引き比べ、時代とともに進化する辞書の選び方、楽しみ方、つきあい方を楽しく紹介。

読売新聞 2021/06/27

2021:4./ 229p
978-4-309-30004-7
本体 ¥1,562〔税込〕



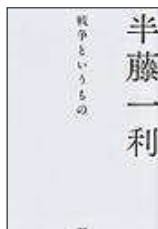
大辞林 第4版

三省堂編修所 編
三省堂

現代語を中心に古語や百科語をも含めた総合的な国語辞典。約25万1千項目を収載し、現代語には作例を、古語には古典からの引用例を掲げる。巻頭では、複数のテーマで多様な日本語の姿をビジュアルに解説。見返しに目次あり。

読売新聞 2021/06/27

2019:9./ 1冊
978-4-385-13906-7
本体 ¥9,900〔税込〕



戦争というもの

半藤 一利 著
PHP研究所

「歴史探偵」が後世に伝え遺したかったものとは。太平洋戦争を理解する上で欠かせない「名言」の意味とその背景を平易な文体で解説し、「戦争とはどのようなものか」を浮き彫りにする。『歴史街道』連載に加筆修正し単行本化。

読売新聞 2021/06/27

2021:5./ 174p
978-4-569-84965-2
本体 ¥1,430〔税込〕





本物をまなぶ学校自由学園

婦人之友社編集部 著

婦人之友社

2021 年に創立 100 周年を迎えた自由学園。生活の全てを学びとする自由学園の一貫教育が注目を集めている。よく生きる力、問題解決の力が育つ学びとは何かを紐解く。折り込みの「自由学園キャンパスイメージ MAP」付き。

読売新聞 2021/06/27

2021:4./ 189p

978-4-8292-0917-2

本体 ¥1,650〔税込〕



流転の海<第1部> 改版(新潮文庫)

宮本 輝 著

新潮社

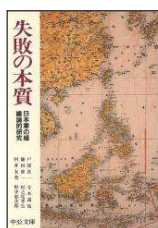
理不尽で我侭で好色な男の周辺に生起する幾多の波瀾。父と子の関係を軸に戦後生活の有為転変を力強く描く、著者畢生の大作。

日本経済新聞 2021/06/05

2005:6./ 443p

978-4-10-130750-3

本体 ¥781〔税込〕



失敗の本質～日本軍の組織論的研究～(中公文庫)

戸部 良一 著

中央公論新社

大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとつての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。

日本経済新聞 2021/06/05

2000:4./ 413p

978-4-12-201833-4

本体 ¥838〔税込〕



或る「小倉日記」伝 改版(角川文庫 ま 1-43)

松本 清張 著

角川書店

史実に残らない小倉在住時代の森鷗外の足跡を、歳月をかけひたむきに調査する田上とその母の苦難。芥川賞受賞の表題作の他、「父系の指」「菊枕」「笛壺」「石の骨」「断碑」の、代表作計6編を収録。

日本経済新聞 2021/06/05

2009:5./ 268p

978-4-04-122701-5

本体 ¥616〔税込〕



雷電本紀(小学館文庫)

飯嶋 和一 著

小学館

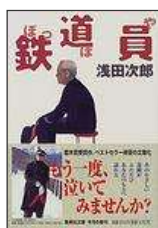
異常気象、凶作、飢餓、疫病の蔓延と、厄災ばかりがうち続いた江戸天明期、後世まで語り継がれる一人の力士が彗星のごとく現れた。巨人のような体躯と野獣のような闘志で豪快に相手を投げ倒していくこの男に、抑圧され続けてきた民衆は未来への希望の光を見た。実在の伝説的相撲取り「雷電」の一生を、緻密な時代考証を踏まえドラマチックに描いて、飯嶋和一の名を世に知らしめた大傑作歴史巨編の文庫化！

日本経済新聞 2021/06/05

2005:6./ 541p

978-4-09-403313-7

本体 ¥764〔税込〕



鉄道員(ぼっぼや)(集英社文庫)

浅田 次郎 著

集英社

日本経済新聞 2021/06/05

2000:3./ 298p

978-4-08-747171-7

本体 ¥528〔税込〕





あの日、パナマホテルで(集英社文庫 フ 31-1)

ジェイミー・フォード 著

集英社

日本経済新聞 2021/06/05

2011:12./ 479p

978-4-08-760639-3

本体 ¥946〔税込〕



破獄 改版(新潮文庫 よ-5-21)

吉村 昭 著

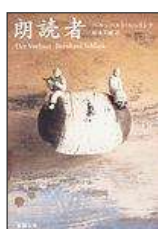
新潮社

日本経済新聞 2021/06/05

2011:11./ 442p

978-4-10-111721-8

本体 ¥781〔税込〕



朗読者(新潮文庫)

ベルンハルト・シュリンク 著

新潮社

日本経済新聞 2021/06/05

2003:5./ 258p

978-4-10-200711-2

本体 ¥605〔税込〕



株式会社規範のコペルニクスの転回～脱・株主ファーストの生存戦略～

コリン・メイヤー 著

東洋経済新報社

株主利益最大化が企業と地球を破壊する！世界トップクラスのビジネススクール教授が、格差、倫理、信頼、社会、環境にやさしい、分断をなくすための革命的な株式会社の作り方を論じる。

2021:4./

32p,457p,13p

978-4-492-53434-2

本体 ¥5,500〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05



都鄙問答(中公文庫 い 136-1)

石田 梅岩 著

中央公論新社

文字がない時代にも天の道理があった。文字ではなく「心」を知れ。「心学」の創始者・石田梅岩が、問答形式をとり、生産と流通の社会的役割の評価、利益追求の正当性を説いた商人道の名著。

2021:4./ 228p

978-4-12-207056-1

本体 ¥968〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05



カランデル駅～ブラジル最大の刑務所における囚人たちの生態～

ドラウジオ・ヴァレーラ 著

春風社

軍警察による囚人の大虐殺が起きたサンパウロのカランデル刑務所。暴力、麻薬、密造酒にとりまかれる囚人たちの姿を、刑務所に勤務していた医師がユーモアと温かみある筆致で生き生きと描く。

2021:3./ 359p

978-4-86110-695-8

本体 ¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05



みんな水の中〜「発達障害」自助グループの文学研究者はどんな世界に棲んでいるか〜(シリーズケアをひらく)

横道 誠 著
医学書院

ASD(自閉スペクトラム症)と ADHD(注意欠如・多動症)を診断された大学教員が、「詩」「論文的」「小説風」の三種類の様式で、赤裸々に自身の体験世界を伝える。テキストデータ引換券付き。

2021:4./ 265p
978-4-260-04699-2
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 2 6 0 0 4 6 9 9 2 *

日本経済新聞 2021/06/05



共感が未来をつくる〜ソーシャルイノベーションの実践知〜

野中 郁次郎 著
千倉書房

人口減少と少子高齢化が進行する中で、地域社会の活力をいかに持続させていくか。研究者や実践の場で活動を担っている実務家らが、それぞれの視点から、様々な社会構造の変革につながる活動を紹介する。

2021:3./ 14p,319p
978-4-8051-1227-4
本体 ¥2,970〔税込〕
* 9 7 8 4 8 0 5 1 1 2 2 7 4 *

日本経済新聞 2021/06/05



火花(文春文庫 ま 38-1)

又吉 直樹 著
文藝春秋

奇想の天才である一方で人間味溢れる神谷、彼を師と慕う後輩徳永。芸人の2人が運命のように出会い…。笑いとは何か、人間が生きるとは何なのかを描ききる。芥川賞受賞記念エッセイ「芥川龍之介への手紙」も収録。

2017:2./ 180p
978-4-16-790782-2
本体 ¥660〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 7 8 2 2 *

日本経済新聞 2021/06/05



日本 SF 精神史 完全版

長山 靖生 著
河出書房新社

江戸後期や幕末期に書かれた架空史から、明治の未来小説・冒険小説、大正・昭和初期の探偵小説・科学小説、1970年頃の現代SF第一世代の活躍、現在まで。日本の想像力200年の系譜をたどる日本SF精神史。

2018:3./ 446p,7p
978-4-309-02662-6
本体 ¥3,080〔税込〕
* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 6 6 2 6 *

日本経済新聞 2021/06/05



職業としてのシネマ(集英社新書 1066)

野 てるみ 著
集英社

観るよりも働くほうが人生楽しい!? ミニシアター・ブームの立役者の一人である著者が、配給、バイヤー、宣伝等の現場における豊富なエピソードを交え、仕事の難しさや面白さ、やりがい伝える、映画業界入門書。

2021:5./ 254p
978-4-08-721166-5
本体 ¥946〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 2 1 1 6 6 5 *

日本経済新聞 2021/06/05



宗教の経済学～信仰は経済を発展させるのか～

田中 健彦 編

ロバート・J・バロー／レイチェル・M・マックリアリー 著

慶應義塾大学出版会

宗教と経済の関係の研究は、データ分析と現代経済学によってバージョンアップされた。キリスト教・イスラム教・仏教など世界中の宗教現象が経済と社会に与える効果を、因果推論や回帰分析を駆使し多角的に分析する。

2021:3./ 5p,220p,27p

978-4-7664-2683-0

本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05



「能率」の共同体～近代日本のミドルクラスとナショナリズム～

新倉 貴仁 著

岩波書店

量と数、機械と能率をめぐるテクノロジーの変容は、国民という共同体の想像、ミドルクラスの文化や生活をどう規定したのか。大衆社会の成立から消費社会化・情報社会化を縦横に論じ、ナショナリズム論に新境地を拓く。

2017:2./ 7p,319p,18p

978-4-00-001824-1

本体 ¥3,630〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05



旅行業界グラグラ日誌(朝日新書 817)

梅村達 著

朝日新聞出版

海千山千のギョーカイ人と理不尽なお客が引き起こす、さまざまなトラブルに振り回される日々。67歳の派遣添乗員が、魑魅魍魎の旅行業界の裏側を紹介しつつ、旅先での温かな交流も活写した、笑って泣ける「業務日誌」。

2021:5./ 244p

978-4-02-295121-2

本体 ¥891〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05



大学は何処へ～未来への設計～(岩波新書 新赤版 1874)

吉見 俊哉 著

岩波書店

不可避の人口減、襲いかかるオンライン化の奔流、疲弊する教員、逼迫する資金…。大学の本質を追究してきた著者が、苦悩と不条理の根本原因に迫り、ポスト・コロナ時代の大学像を大胆に構想する。「大学とは何か」の姉妹編。

2021:4./ 4p,300p,9p

978-4-00-431874-3

本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05



アルジャーノンに花束を 新版(ハヤカワ文庫 NV 1333)

ダニエル・キイス 著

早川書房

幼児なみの知能しかない 32 歳のチャーリーに、知能向上の手術の話が舞いこみ、白ネズミのアルジャーノンを競争相手に検査を受ける。やがて手術により天才に変貌したチャーリーだが…。著者追悼の訳者あとがきを付した新版。

2015:3./ 462p

978-4-15-041333-0

本体 ¥946〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05



企業価値経営

伊藤 邦雄 著

日本経済新聞出版社

企業価値を評価する手法や概念が、経営という実践の場でどのような意義を持ち、どのように活用されているか。日本企業が直面している課題や現実にもとづいて理解できるよう、豊富な国内事例を取り上げてわかりやすく解説する。

2021:4./ 11p,710p

978-4-532-13514-0

本体 ¥4,620〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05



実力も運のうち～能力主義は正義か？～

マイケル・サンデル 著

早川書房

努力と才能で、人は誰でも成功できる-能力主義の夢は残酷な自己責任論と表裏一体であり、勝者と敗者の間に未曾有の分断をもたらしている。この難題に解決策はあるのか？ハーバード大学哲学教授が能力主義の闇を暴く。

2021:4./ 376p

978-4-15-210016-0

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05、朝日新聞 2021/06/19



地中のディナー(海外文学セレクション)

ネイサン・イングラダー 著

東京創元社

イスラエルの秘密軍事施設にはただ一人の囚人 Z が長年監禁されており、一人だけの看守が見張っていて…。悲哀、諦観、希望を繰り返しもたらず不条理なパレスチナ紛争と、それに翻弄されながら生きる人々の姿を描く。

2021:4./ 281p

978-4-488-01678-4

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05、朝日新聞 2021/06/26



土偶を読む～130 年間解かれなかった縄文神話の謎～

竹倉 史人 著

晶文社

130 年以上も研究されながら、いまだ詳細不明の縄文土偶。土偶の形態を具体的に分析するイコノロジー研究の手法と、環境文化史・民族植物学を含む最新の考古研究の実証データを用いて、土偶の「真実」を明らかにする。

2021:4./ 347p 図版 9 枚

978-4-7949-7261-3

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05、東京・中日新聞 2021/06/06



日本回帰と文化人～昭和戦前期の理想と悲劇～(筑摩選書 0210)

長山 靖生 著

筑摩書房

和辻哲郎の日本古典美の称揚、保田らの日本浪漫派、北原白秋や斎藤茂吉の戦争詩歌…。戦後タブー視されがちであった「日本回帰」的作品を、当時の時代状況や彼らの内的論理に注目しつつ読み解き「日本的なもの」の核心に迫る。

2021:4./ 317p

978-4-480-01729-1

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05、東京・中日新聞 2021/06/06、産経新聞 2021/06/20



「テレビは見ない」というけれど～エンタメコンテンツをフェミニズム・ジェンダーから読む～

青弓社編集部 著

青弓社

「テレビは見ない」という声の一方でテレビのコンテンツが話題になることも多い。テレビのバラエティーとドラマのダメな点と面白い点を指摘し、フェミニズムやジェンダーの視点からエンタメコンテンツの問題点と可能性を探る。

2021:4./ 239p

978-4-7872-3486-5

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/05、読売新聞 2021/06/20



うつ病九段～プロ棋士が将棋を失くした一年間～

先崎 学 著

文藝春秋

棋士生活 30 年、ある日突然襲ってきた病魔は、うつ病だった。うつ病で入院し、休場を余儀なくされた羽生世代の棋士・先崎学が、発症から回復までの日々を大胆に綴る。

2018:7./ 190p

978-4-16-390893-9

本体 ¥1,375〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



テンプレート騎士団全史

ダン・ジョーンズ 著

河出書房新社

巡礼者であり戦士、貧者であり銀行家。彼らは何者だったのか。神の教えと剣に生きた、中世最強の軍事組織・テンプレート騎士団の男たちのありのままの軌跡を、圧倒的なスケールで描き出す。

2021:4./ 497p 図版

16p

978-4-309-22821-1

本体 ¥5,390〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



概説 GDPR～世界を揺るがす個人情報保護制度～

小向 太郎、石井 夏生利 著

NTT出版

欧州の歴史の中で生まれた、世界でも突出した個人情報保護制度「GDPR」。その規制内容や法執行のしくみと求められる具体的な対応を、コンパクトにわかりやすく解説する。著者らの対談も収録。

2019:9./ 179p

978-4-7571-2381-6

本体 ¥3,300〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



ICT・AI時代の個人情報保護

別所直哉 編

別所 直哉 著

金融財政事情研究会

個人データを取り扱う事業者にはどのような規律が求められているのか? 2020 年改正の個人情報保護法のポイントを詳解し、欧州・米国・中国における立法動向、情報銀行の取組みなどを解説する。

2020:10./ 10p,276p

978-4-322-13565-7

本体 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



変化する社会とともに歩む学校図書館(ライブラリーぶっくす)

野口 武悟 著

勉誠出版

時代ごとに変化する学校図書館。歴史的な側面を概括し、制度論も交えながら現在の学校図書館の達成ポイントと課題を論じるとともに、「本との出会い」だけにとどまらない図書館の教育的効果を考える。

2021:4./ 286p

978-4-585-20081-9

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



Ctrl+Z 忘れられる権利

メグ・レタ・ジョーンズ 著

勁草書房

表現の自由等の重要な権利と衝突することから、論争を呼んでいる、新たな基本的人権「忘れられる権利」。既存の議論がこの権利を受け入れるか否か両極端にふれていることを批判し、ありうる選択肢を提供する。

2021:1./ 7p,231p,51p

978-4-326-45123-4

本体 ¥3,850〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



手塚治虫とトキワ荘(集英社文庫 な 69-2)

中川 右介 著

集英社

手塚治虫、藤子不二雄 A、藤子・F・不二雄、石ノ森章太郎、赤塚不二夫…。若き巨匠たちが集った聖地・トキワ荘。膨大な資料をもとに、手塚治虫とトキワ荘グループの業績を再構築し、日本のマンガ出版史を描く。

2021:5./ 534p

978-4-08-744249-6

本体 ¥1,100〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



学校選択制の政策評価～教育における選択と競争の魅惑～(日本女子大学叢書 23)

山下 絢 著

勁草書房

学校選択制は、子どもの教育機会の配分方法をめぐる選択の問題でもあり、社会全体のあり方までの選択を問う問題をも提起する。日本の義務教育段階における学校選択制の実態と課題を、エビデンスに基づき検証する。

2021.3./ 9p,188p

978-4-326-25150-6

本体 ¥4,180〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



太陽の門

赤神 諒 著

日本経済新聞出版社

スペイン内戦で徒手空拳の民兵たちを指揮する元米国軍人のリックは、空襲で運命の女性と引き裂かれ…。著者が映画「カサブランカ」の前日譚として構想した小説。『日本経済新聞』朝刊連載を大幅に加筆し単行本化。

2021.5./ 490p

978-4-532-17162-9

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



お笑い世代論～ドリフから霜降り明星まで～(光文社新書 1128)

ラリー 遠田 著

光文社

ザ・ドリフターズ、ビートたけし、とんねるず、ナインティナイン、霜降り明星…。芸人を「第一世代」から「第七世代」まで分類し、各世代ごとに2組ずつ代表的な芸人を取り上げ、それぞれ世代ごとの特徴を解説する。

2021.4./ 291p

978-4-334-04535-7

本体 ¥1,012〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



数の発明～私たちは数をつくり、数につくられた～

ケイレブ・エヴェレット 著

みすず書房

数万年前の狩人が骨に残した刻み目、1+1を理解する新生児のまなざし。数を持たないピダハン族と暮らした著者が、考古学、言語学、認知科学、生物学、神経科学を横断し、数の発明の経緯を探り、その影響を展望する。

2021.5./ 286p,33p

978-4-622-08964-3

本体 ¥3,740〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



億万長者だけが知っている教養としての数学～世界一役に立つ数学的思考力の磨き方～

ヒュー・バーカー 著

ダイヤモンド社

数学で1億円をどう稼ぐ? 数学と金融のさまざまな関係や、そこから生み出されるお金儲けの機会について、数式や数学的手法を用いて成功を勝ち取った有名な投資家や実業家、ギャンブラーの物語を紹介しながら伝授する。

2021.4./ 4p,321p

978-4-478-10455-2

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



気候を操作する～温暖化対策の危険な「最終手段」～

杉山 昌広 著

KADOKAWA

欧米を中心に注目を集めている最新技術、気候工学。日本の第一人者が、「大気中からCO2を直接回収する」「成層圏に微粒子を撒いて太陽光を遮る」など、温暖化対策の“最終手段”の概要・効果・危険性について解説する。

2021.3./ 239p

978-4-04-400611-2

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



キャッシュレス国家～「中国新経済」の光と影～(文春新書 1213)

西村 友作 著

文藝春秋

国家主導でキャッシュレスを推進する中国。モバイル決済が普及し、それを前提とした新ビジネスが続々と誕生。しかも、その利用履歴が国民の統治制度に組み込まれつつある。壮大な社会実験に取り組む中国の現状を紹介する。

2019:4./ 234p

978-4-16-661213-0

本体 ¥935〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



ウチ化石学入門(インターナショナル新書 070)

泉 賢太郎 著

集英社インターナショナル

ウチや足跡、巣穴などの「生痕化石」からは、生物の歴史、地球の歴史、そして宇宙の未来までが見えてくる。気鋭の古生物学者が、ウチクとガンチクに富む知的な科学ストーリーを紹介する。身近の地層の楽しみ方もガイド。

2021:4./ 190p

978-4-7976-8070-6

本体 ¥880〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



躁鬱大学～気分の波で悩んでいるのは、あなただけではありません～

坂口 恭平 著

新潮社

「居心地悪いなあ」と感じたらすぐ立ち去る、人の意見で行動を変えない…。躁鬱病と診断され、気分の浮き沈みの激しさに苦しんでいた著者がみつけた、誰でもできるラクに愉快地生きる技術を紹介する。note 掲載を単行本化。

2021:4./ 265p

978-4-10-335953-1

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



パーパス経営～30年先の視点から現在を捉える～

名和 高司 著

東洋経済新報社

資本主義の先の姿を、志を基軸とした「志本主義(パーパスイズム)」と呼び、志本経営の基本理念を概観。海外と日本の志本経営の先進事例や志本経営を実践するうえでの課題を論じ、志本経営を主軸とした日本再生の道を提言する。

2021:4./ 6p,508p,14p

978-4-492-53436-6

本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



食卓を変えた植物学者～世界くだものハンティングの旅～

ダニエル・ストーン 著

築地書館

アボカド、マンゴー、カシューナッツ…。すっかり身近になった食べ物は、ひとりの植物学者によって世界中に広がった。ヨーロッパ、アジア、アフリカ、ラテンアメリカを旅し、未知の植物の探索に人生を賭けた男の冒険を描く。

2021:4./ 395p

978-4-8067-1620-4

本体 ¥3,190〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12



カード師

中村文則 著

朝日新聞出版

占いを信じていない占い師、そして客を翻弄する違法カジノのディーラーでもある「僕」はある組織から依頼され、正体を隠して奇妙な資産家の顧問占い師になるが…。『朝日新聞』連載に加筆して単行本化。

2021:5./ 457p

978-4-02-251758-6

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12、産経新聞 2021/06/13



悲劇の世界遺産～ダークツーリズムから見た世界～(文春新書 1313)

井出 明 著

文藝春秋

世界遺産には、光と影の両義性が含まれている。戦争や災害などの悲劇の記憶を巡る旅=ダークツーリズムの視点から、アウシュビッツ強制収容所、産業遺産、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産、震災遺構等を掘り下げる。

2021:5./ 220p

978-4-16-661313-7

本体 ¥1,210〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/12、朝日新聞 2021/06/26



坂の上の雲<1> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

1999:1./ 350p

978-4-16-710576-1

本体 ¥803〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19



エルマーのぼうけん 新版(世界傑作童話シリーズ)

ルース・スタイルス・ガネット 著

福音館書店

動物島に捕えられているりゅうの子を助けるため、エルマーは冒険の旅にでかけます……。広がる空想、ユーモア、リアリティー。幼年童話の最高峰の一つとして読みつがれています。

2010:3./ 116p

978-4-8340-0013-9

本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19



Slam dunk～完全版～<#1>(ジャンプ・コミックスデラックス)

井上 雄彦 著

集英社

日本経済新聞 2021/06/19

2001:3./ 235p

978-4-08-859190-2

本体 ¥1,026〔税込〕



トヨタ生産方式～脱規模の経営をめざして～

大野 耐一 著

ダイヤモンド社

日本経済新聞 2021/06/19

1980:1./ 232p

978-4-478-46001-6

本体 ¥1,540〔税込〕



これはのみのびこ

谷川 俊太郎、和田 誠 著

サンリード

日本経済新聞 2021/06/19

1979:4./ 1冊

978-4-914985-01-1

本体 ¥1,980〔税込〕



企業変革力

ジョン・P. コッター、梅津 祐良 著

日経BP社

従来のマネジメント至上主義から、リーダーシップを重視する方向への転換を主張するリーダーシップ論の決定版。97年刊「21世紀の経営リーダーシップ」を改題・一部改訳。

2002:4./ 309p

978-4-8222-4274-9

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19



庭(新潮文庫 お-95-3)

小山田 浩子 著

新潮社

ままならない日々を生きる人間のすぐそばで、虫や草花や動物たちが織り成す、息をのむような不可思議な世界。風景が静かに決定的に姿を変える瞬間を克明に描き出す、15の物語を収録する。

2021:1./ 299p

978-4-10-120543-4

本体 ¥649〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19



マネジメント～基本と原則～ エッセンシャル版

P.F.ドラッカー 著

ダイヤモンド社

ドラッカー経営学の集大成を凝縮。指針とすべき役割・責任・行動を示し、新しい目的意識と使命感を与える書。1975年刊「抄訳マネジメント」を改訂改題して新たに論文を加えたエッセンシャル版。

2001:12./ 302p

978-4-478-41023-3

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19



災害とたたかう大名たち(角川選書 651)

藤田 達生 著

KADOKAWA

地震、火事、水害、干魃、疫病…。度重なる危機に、江戸時代の大名たちはどう立ち向かったのか。幕府安定化に尽力した外様大藩・藤堂藩の記録を中心に、藩がいか

2021:4./ 252p

978-4-04-703708-3

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19



紛争と国家建設～戦後イラクの再建をめぐるポリティクス～

山尾 大 著

明石書店

イラク戦争後のイラク国家建設とそれをめぐるポリティクスについて、多角的に考察。通説とは異なる視座にもとづいて政治対立が継続している要因を探り、戦後イラクの紛争と国家建設の実態を描き出す。

2013:3./ 298p

978-4-7503-3776-0

本体 ¥4,620〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19



人を動かす 新装版

D・カーネギー 著

創元社

「人を動かす三原則」「人に好かれる六原則」「人を説得する十二原則」など、社会人として身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示する。あらゆる自己啓発の原点となった書の改訂版を訳した新装版。

1999:10./ 346p

978-4-422-10051-7

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19



日本の農村～農村社会学に見る東西南北～(ちくま新書 1573)

細谷 昂 著

筑摩書房

近代化によって大きく変わった日本の農村生活。農村社会学者の記録から、日本の各地域の農村のあり方、農村における家と村の歴史を再構成し、日本人が忘れ去ってしまいそうな農家・農村の原風景を探る。

2021:5./ 317p

978-4-480-07397-6

本体 ¥1,034〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19



魂の経営

古森 重隆 著
東洋経済新報社

写真フィルム市場が10分の1に縮小する本業消失の危機を、奇跡と称される事業構造の転換で乗り越えた富士フイルム。代表取締役会長兼 CEO の古森重隆が、「古森流経営改革」の全貌とリーダー哲学を説く。

日本経済新聞 2021/06/19

2013.10./ 222p
978-4-492-50255-6
本体 ¥1,760〔税込〕
* 9 7 8 4 4 9 2 5 0 2 5 5 6 *



スマホ脳(新潮新書 882)

アンデシュ・ハンセン 著
新潮社

睡眠障害、うつ、記憶力や集中力、学力の低下、依存…。スウェーデンで注目されるメンタルヘルスのインフルエンサーが、スマホや iPad が人間、特に子供や若者に与える影響を最新研究をもとに明らかにする。

日本経済新聞 2021/06/19

2020.11./ 255p
978-4-10-610882-2
本体 ¥1,078〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 8 8 2 2 *



世界最速ビジネスモデル～中国スタートアップ図鑑～

井上 達彦／鄭 雅方 著
日経BP社

中国スタートアップが史上最速ともいえる急成長を成し遂げた理由とは？ アリババやテンセントといった超巨大企業のみならず、知られざるスタートアップのビジネスモデルに注目し、「成長の方程式」を解明する。

日本経済新聞 2021/06/19

2021.5./ 413p
978-4-296-00013-5
本体 ¥2,970〔税込〕
* 9 7 8 4 2 9 6 0 0 0 1 3 5 *



現代イラクのイスラーム主義運動～革命運動から政権党への軌跡～

山尾 大 著
有斐閣

イスラーム主義運動の成立、フセイン政権による弾圧、亡命、そして分裂。数々の苦難を乗り越え、政権に就いたイスラーム主義運動の歴史的変容過程を、膨大な一次資料や関係者へのインタビューによって描き出す。

日本経済新聞 2021/06/19

2011.12./ 13p,350p
978-4-641-04995-6
本体 ¥6,820〔税込〕
* 9 7 8 4 6 4 1 0 4 9 9 5 6 *



食農倫理学の長い旅～<食べる>のどこに倫理はあるのか～

ポール・B・トンプソン 著
勁草書房

遺伝子組み換え作物は NG？ 飢餓地域にもっと食料援助するべき？ 食生活の倫理と肥満、食の未来などをテーマに、不信と分断を生み出す主張の単純化を越え、「皆が食べ続けることができる社会の姿」を探求する。

日本経済新聞 2021/06/19

2021.3./
18p,357p,38p
978-4-326-15468-5
本体 ¥3,520〔税込〕
* 9 7 8 4 3 2 6 1 5 4 6 8 5 *



日本車は生き残れるか(講談社現代新書 2617)

桑島 浩彰／川端 由美 著
講談社

日本の自動車産業は崩壊しない。ただし、新しいルールに適応できた企業だけが生き残ることができる。世界の自動車産業の昨今の動きを詳述しながら、日本の自動車産業にいま求められているものは何なのかを解き明かす。

日本経済新聞 2021/06/19

2021.5./ 238p
978-4-06-523529-4
本体 ¥990〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 3 5 2 9 4 *



神様の罠(文春文庫 つ18-50)

辻村 深月／乾 くるみ／米澤 穂信／芦沢 央／大山 誠一郎／有栖川 有栖 著
文藝春秋

過去がふいに招く破綻、思いがけず露呈するほころび…。辿り着く先は、神様の差配によるものか。乾くるみ、辻村深月などミステリー界をリードする6人の作家による、珠玉のアンソロジー。『オール讀物』掲載を文庫化。

日本経済新聞 2021/06/19

2021:6./ 327p
978-4-16-791702-9
本体 ¥825〔税込〕



紛争のインパクトをはかる～世論調査と計量テキスト分析からみるイラクの国家と国民の再編～(シリーズ転換期の国際政治 14)

山尾 大 著
晃洋書房

様々なものを破壊する紛争。イラクではとりわけ国民相互のつながりを破壊してきたと論じられるが、それは本当か？ 調査の結果明らかになったイラク国民の矛盾した意識を手掛かりに、紛争と国家・国民との関係を分析する。

日本経済新聞 2021/06/19

2021:3./ 6p,284p
978-4-7710-3456-3
本体 ¥4,180〔税込〕



中世ヨーロッパ～ファクトとフィクション～

ウィンストン・ブラック 著
平凡社

中世は暗黒時代だった。中世の人々は魔女を信じ、火あぶりにした。中世ヨーロッパの名だたるフィクション(虚構)を取り上げ、それらがどのように構築されたかを解説。さらに実際に起きたことを一次史料を交えて解明する。

日本経済新聞 2021/06/19

2021:4./ 380p
978-4-582-44713-2
本体 ¥3,520〔税込〕



海辺の金魚

小川 紗良 著
ポプラ社

児童養護施設で暮らす花は、18歳の夏を迎えたが、将来への夢や希望を何ひとつ持っていない。ある日、事情を抱えた女の子・晴海が施設にやってくる。晴海の姿に、花はかつての自分を重ね合わせ…。みずみずしい連作短編集。

日本経済新聞 2021/06/19

2021:6./ 234p
978-4-591-17024-3
本体 ¥1,650〔税込〕



学力工場の社会学～英国の新自由主義的教育改革による不平等の再生産～

クリスティ・クルツ 著
明石書店

イングランドの公設民営学校「アカデミー」。新自由主義的な教育改革の成功例として取り上げられるアカデミーの模範的学校の内実を通じて、新自由主義的政策への変化が、いかなる社会的・文化的な影響を有するかを解明する。

日本経済新聞 2021/06/19

2020:12./ 395p
978-4-7503-5132-2
本体 ¥4,180〔税込〕



小島

小山田 浩子 著
新潮社

当たり前の風景、繰り返される日々の営み。それがたしかに世界をかすかに震わせる。さまざまな場所で出会う何気ない出来事をつぶさに描いた中短篇の他、広島カープと広島の人々の特別な関わりをテーマにした奇談連作も収録。

日本経済新聞 2021/06/19

2021:4./ 345p
978-4-10-333644-0
本体 ¥2,090〔税込〕





南極探検とペンギン～忘れられた英雄とペンギンたちの知られざる生態～

ロイド・スペンサー・デイヴィス 著

青土社

100 年前に南極点に到達したスコット探検隊のメンバー、レビックはペンギンの奔放な性生活をノートに書き留めていた。レビックの生涯とゆかりの地をたどり、過酷な南極探検の実態とペンギンの知られざる生態を明らかにする。

2021:4./ 458p,8p 図

版 24p

978-4-7917-7377-0

本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19



イギリス 1960 年代～ビートルズからサッチャーへ～(中公新書 2643)

小関 隆 著

中央公論新社

ビートルズ、サッチャー流の新自由主義という、今なお影響を与え続ける文化と政治は、なぜ 1960 年代に生まれたか。ファッション、アートなどの百花繚乱、激動の社会とその反動を紹介し、イギリス 1960 年代の全貌を描く。

2021:5./ 4p,250p

978-4-12-102643-9

本体 ¥946〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/19、読売新聞 2021/06/20



祖国<下>

フェルナンド・アラムブル 著

河出書房新社

夫を撃ったのは、誰？ バスクを舞台に 2 つの家族が「愛国心」のもと引き裂かれる。残された家族の苦悶を描き、スペイン国民文学賞、欧州文学賞などを受賞したベストセラー。

2021:4./ 375p

978-4-309-20825-1

本体 ¥3,630〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/26



マンダラを生きる(角川ソフィア文庫 H128-2)

正木 晃 著

KADOKAWA

密教が創造した究極のアイテム、マンダラ。日本では、空海が唐から持ち帰って以来、自然観を反映した多種多様なものが誕生した。日本で独自の発展を遂げたマンダラの世界に迫る。

2021:6./ 239p

978-4-04-400465-1

本体 ¥1,100〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/26



管理職はいらない～AI 時代のシン・キャリア～(SB 新書 544)

野口 竜司 著

SBクリエイティブ

DX 時代、AI を怖がる管理職は生き残れない。AI と人の共働きをマネジメントし、そこから成果を出す管理職になるために、何をすればよいのかを論じる。AI 人材基礎スキルチャートも収録。

2021:5./ 239p

978-4-8156-0995-5

本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/26



テレワーク時代のマネジメントの教科書～「見えない部下」をどう管理するのか？～

高橋 豊 著

ダイヤモンド社

コミュニケーションや上司の役割から、時間管理、新人育成、評価法まで、テレワーク下で起こりがちな課題の解決策を具体的に示す。テレワークが日本の雇用制度や働き方に与える影響なども分析する。

2021:4./ 231p

978-4-478-11318-9

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/06/26



西暦一〇〇〇年グローバリゼーションの誕生

ヴァレリー・ハンセン 著

文藝春秋

西欧の大航海時代以前に、世界経済は既につながっていた! 考古学的知見や最新の学説も交えて西暦 1000 年の世界を再現。この年こそが、「グローバリゼーションのはじまり」であることを描き出す。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.5./ 389p

978-4-16-391370-4

本体 ¥2,420〔税込〕



言葉はいかに人を欺くか〜?、ミスリード、犬笛を読み解く〜

小野 純一 編

ジェニファー・M・ソール 著

慶應義塾大学出版会

日常会話やメディア、政治における?、方便、欺瞞、人種差別…。気鋭の言語哲学者ジェニファー・M・ソールが、人を操る言葉と倫理の解明に挑む。話題の犬笛政治論「犬笛、政治操作、言語哲学」も掲載。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.4./ 290p,10p

978-4-7664-2745-5

本体 ¥3,520〔税込〕



会社で人生を振り回されない武器としての労働法

佐々木 亮 著

KADOKAWA

労働に関連する多くのトラブルで、働く側(労働者)が泣き寝入りをしている。働く人のための「労働法」という強力な「武器」がどのようなものであり、どう使って戦えばよいのかを、雇用形態別に解説する。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.3./ 207p

978-4-04-604972-8

本体 ¥1,650〔税込〕



人事労働法〜いかにして法の理念を企業に浸透させるか〜

大内 伸哉 著

弘文堂

紛争の解決よりも紛争の防止を目指し、企業が作成すべき就業規則を提示。良き経営のために、従業員に対し果たすべき義務を軸とした「人事労働法」を提唱する。各項目ごとに補注、思考、自学(課題)も掲載。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.4./ 18p,318p

978-4-335-35857-9

本体 ¥3,190〔税込〕



競争政策の経済学〜人口減少・デジタル化・産業政策〜

大橋 弘 著

日本経済新聞出版社

人口減少による市場縮小、経済のデジタル化という環境変化に直面し、競争政策の大胆な転換が必要な日本。携帯電話、電力、八幡・富士合併など豊富な事例分析にもとづいて、新しい政策方針を明らかにする。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.4./ 339p

978-4-532-13513-3

本体 ¥2,750〔税込〕



現代ロシアの軍事戦略(ちくま新書 1572)

小泉 悠 著

筑摩書房

ロシアはなぜ世界的な大国であり続けられるのか。ドローン、サイバー攻撃などの最新の戦略を駆使し、ハイブリッドな戦争観を磨き上げて返り咲いたロシアの「新しい戦争」を読み解き、未来の世界情勢を占う。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.5./ 300p,12p

978-4-480-07395-2

本体 ¥1,034〔税込〕





武士論～古代中世史から見直す～(講談社選書メチエ 748)

五味 文彦 著

講談社

この国が「日本」を名乗ってこのかた、その歴史の半分にわたって、武家政権が中枢を担ってきた。武士とはいったい何者なのか? 絵巻、説話集、発掘成果など多彩な資料を駆使して、武士たちの 500 年に迫る。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.5./ 266p

978-4-06-523464-8

本体 ¥2,090〔税込〕



祖国<上>

フェルナンド・アラムブル 著

河出書房新社

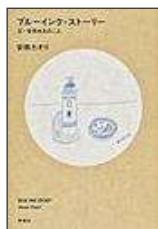
20 年以上前、夫のチャットがバスクの武装集団 ETA に殺害された。故郷の村を離れて暮らす妻ビョリは、ETA が武装闘争の完全停止を宣言した 2011 年、夫の死をめぐる真実と謝罪をもとめて、村に帰り…。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.4./ 347p

978-4-309-20824-4

本体 ¥3,300〔税込〕



ブルーインク・ストーリー～父・安西水丸のこと～

安西 カオリ 著

新潮社

父がいなくなって世界はがらりと変わってしまったけれど、父との大切な時間を経て今の自分がある。海辺、灯台、スノードーム…。父・安西水丸の好きなもの、お気に入りの品々を眺めながら、大切な記憶を辿るエッセイ。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.4./ 165p

978-4-10-353951-3

本体 ¥1,760〔税込〕



カルティエ最強のブランド創造経営～巨大ラグジュアリー複合企業「リシュモン」に学ぶ感性価値の高め方～

長沢 伸也／杉本 香七 著

東洋経済新報社

街角の冴えない老舗や山奥の誰も知らない地場伝統ものづくり企業は、いかにして世界的企業グループに変身したのか? 「歴史」「人」「土地」「技術」をブランド資源に変える戦略と方法をラグジュアリーブランドに学ぶ。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.3./ 303p

978-4-492-50324-9

本体 ¥2,640〔税込〕



スピルオーバー～ウイルスはなぜ動物からヒトへ飛び移るのか～

デビッド・クアメン 著

明石書店

ウイルスたちはなぜ、いつ、どこで、いかに種を超え人間へと飛び移り、惨事をもたらしてきたのか。異種間伝播(スピルオーバー)を通じて爆発的に広がった疫病の実態とそれに挑戦する人々の苦闘を現地取材を通して辿る。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.3./ 510p

978-4-7503-5154-4

本体 ¥4,180〔税込〕



予測不能の時代～データが明かす新たな生き方、企業、そして幸せ～

矢野 和男 著

草思社

幸せな人は「面倒だが重要な仕事」に積極的で、幸せな人が多い企業は生産性が高い。多数の企業が参加した「幸せの計測技術」「組織を幸せに導く技術」の実証実験に基づいて、予測不能な変化といかに向き合うべきかを論じる。

日本経済新聞 2021/06/26

2021.5./ 331p

978-4-7942-2511-5

本体 ¥1,980〔税込〕





ようこそ地獄、奇妙な地獄(朝日選書 1022)

星瑞穂 著

朝日新聞出版

仏教とともに地獄の存在を知って以降、常に地獄を身近に感じながら生きてきた日本人。「往生要集」「日本霊異記」「平家物語」といった古典文学や絵画をひもときながら、時代の空気の明暗や当時の世相、日本人の死生観を説く。

日本経済新聞 2021/06/26

2021:6/ 311p

978-4-02-263109-1

本体 ¥1,870〔税込〕



モッキンポット師の後始末(講談社文庫)

井上 ひさし 著

講談社

食うために突飛なアイデアをひねり出しては珍バイトを始めるが、必ず一騒動起すカトリック学生寮の“不良”学生 3 人組。いつもその尻ぬぐいをさせられ、苦りきる指導神父モッキンポット師——ドジで間抜けな人間に愛着する著者が、お人好し神父と悪デエ学生を行状を軽快に描く笑いとユーモア溢れる快作。

毎日新聞 2021/06/05

1986:7/ 278p

978-4-06-131258-6

本体 ¥660〔税込〕



東南アジアと「LGBT」の政治～性的少数者をめぐって何が争われているのか～

日下 渉／青山 薫／伊賀 司／田村 慶子 著

明石書店

東南アジアにおける、一般的に LGBT と総称される性的少数者をめぐる政治を、誰が、いかに「善き市民」を定義し、知的・道徳的な主導権を握るのかという、ヘゲモニー闘争の視点から分析する。

毎日新聞 2021/06/05

2021:4/ 388p

978-4-7503-5164-3

本体 ¥5,940〔税込〕



チャリティの帝国～もうひとつのイギリス近現代史～(岩波新書 新赤版 1880)

金澤 周作 著

岩波書店

弱者への共感と同情が生んだ無数のチャリティと、それらを組み込む重層的なセーフティネット。長い歴史に立脚し、社会の錨として働き続けるチャリティという現象を軸にしてイギリス近現代史を描く。

毎日新聞 2021/06/05

2021:5/

19p,231p,26p

978-4-00-431880-4

本体 ¥946〔税込〕



イギリス祭り紀行

居駒 永幸 著

富山房インターナショナル

現存するイギリス最古の祭りと言われるアボッツ・ブロムリーの鹿の角踊り、ウェールズに伝わる新年の葦毛うまなど、家族旅行の目線で見た、ほとんど知られていないイギリスの田舎祭りについて綴る。

毎日新聞 2021/06/05

2021:4/ 244p

978-4-86600-092-3

本体 ¥2,200〔税込〕



なぜ秀吉は

門井 慶喜 著

毎日新聞出版

朝鮮出兵は歴史的快挙か、天下の愚策か。わずか 6 年半だけの主都となった名護屋を舞台に繰り広げられた、天下人・秀吉の最期の仕事と人間ドラマを描く。『サンデー毎日』連載に加筆修正して単行本化。

毎日新聞 2021/06/05

2021:5/ 397p

978-4-620-10853-7

本体 ¥1,980〔税込〕





彭明敏〜?介石と闘った台湾人〜

近藤 伸二 著

白水社

?介石の虚構を暴き、反乱罪容疑で逮捕。軟禁生活が続く中、米国に脱出し…。李登輝と同時代を生き、台湾民主化運動のシンボルと言われた彭明敏の波瀾万丈の人生を、貴重な証言と史料で再現した初の本格評伝。

2021.5./ 283p

978-4-560-09824-0

本体 ¥2,750〔税込〕



毎日新聞 2021/06/05



黄色いやづ〜真柄慎一短編集〜

真柄慎一 著

フライの雑誌社

小遣いはなかなか貯まらず、竿は買えないまま。そして釣れないまま。それでも毎日のように川へ向かった。僕は僕なりの素敵な大人になりたい…。16 編の物語。『フライの雑誌』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021.3./ 190p

978-4-939003-84-4

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/06/05



虫たちの日本中世史〜『梁塵秘抄』からの風景〜(叢書・知を究める 19)

植木 朝子 著

ミネルヴァ書房

さまざまな文学・芸能・信仰などに現れる虫の姿に導かれながらたどる日本中世史。平安時代末の流行歌今様を出発点に、中世の人々と虫の関わりを追いかけ、小さな虫の世界から覗いた中世の風景の豊かな世界を切り取る。

2021.3./ 6p,327p,11p

978-4-623-09058-7

本体 ¥3,300〔税込〕



毎日新聞 2021/06/05



21 世紀の人と国土〜下河辺淳小伝〜

塩谷 隆英 著

商事法務

戦災復興院、経済企画庁、国土庁において、戦後日本の国土開発・国土行政の中心的な役割を果たした下河辺淳。人間と自然とが共存する持続可能な国土のデザインに渾身の力を振るい続けた下河辺の開発哲学を明らかにする。

2021.3./ 20p,413p

978-4-7857-2851-9

本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/06/05



映画のメリーゴーラウンド

川本 三郎 著

文藝春秋

一本の作品から、その監督の別の作品を思い出す。ちょっとした小物、小道具が、そこに込められた思いを想像させ、いろいろなことを暗示し…。川本三郎が贈る大人のための“映画尻取り遊び”。『ぴあ』アプリ連載を書籍化。

2021.4./ 285p,32p

978-4-16-391357-5

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/06/05



エレジーは流れない

三浦 しをん 著

双葉社

のどかでさびれた温泉街に暮らす高校2年生の怜は、複雑な家庭の事情、迫りくる進路選択、自由奔放な友人たちに振り回される日々を送っている。そんななか、博物館から縄文式土器が盗まれ…。『小説推理』連載に加筆・修正。

2021.4./ 256p

978-4-575-24397-0

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/06/05



フクシマ土壌汚染の 10 年～放射性セシウムはどこへ行ったのか～(NHK ブックス 1268)

中西 友子 著

NHK出版

原発事故から 10 年、「放射能」は今、どうなっているのか。新たな問題とは。農作物から山菜・家畜の汚染、除染の効果、拡散のリスクまで目に見えない放射能を徹底追跡する。「土壌汚染-フクシマの放射性物質のゆくえ」続編。

2021:4./ 222p

978-4-14-091268-3

本体 ¥1,430〔税込〕



毎日新聞 2021/06/05



イヌは愛である～「最良の友」の科学～

クライブ・ウィン 著

早川書房

家に帰ったときの喜びよう、人にぴったりとくっついて眠る様子。なぜ彼らはあれほど人を慕うのか？ イヌの科学の第一人者が、人とイヌを?ぐものを「愛」と表現し、その起源や機能、生体内メカニズムまでもを網羅して解説。

2021:5./ 394p

978-4-15-210023-8

本体 ¥2,310〔税込〕



毎日新聞 2021/06/05、毎日新聞 2021/06/19



黒牢城～Arioka Citadel case～

米澤 穂信 著

KADOKAWA

織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠もった荒木村重は難事件に翻弄される。村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。『カドブンノベル』他掲載に加筆修正。

2021:6./ 445p

978-4-04-111393-6

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/06/06



アメリカの影(講談社文芸文庫)

加藤 典洋 著

講談社

毎日新聞 2021/06/12

2009:9./ 386p

978-4-06-290061-4

本体 ¥1,870〔税込〕



サラダ記念日～倭万智歌集～

倭 万智 著

河出書房新社

「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日 スパゲティの最後の一本食べようとしているあなた見ている私 20 歳のおわりから 24 歳までの 430 余首を収めた第 1 歌集。

2016:7./ 190p

978-4-309-02488-2

本体 ¥1,100〔税込〕



毎日新聞 2021/06/12



言葉のない世界～田村隆一詩集～

田村 隆一 著

港の人

雨にはガーゼのにおいがする 真夏のモダンな屠殺所から 虹色の渚から 生きのこったイメジだけが ブルースをうたつてかえってくるよ(「雨の日の外科医のブルース」より) 田村隆一の詩集。

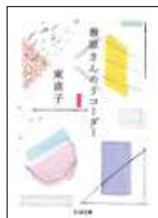
2021:4./ 40p

978-4-89629-390-6

本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/06/12



春原さんのリコーダー(ちくま文庫 ひ 19-3)

東 直子 著

筑摩書房

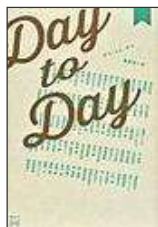
転居先不明の判を見つめつつ春原さんの吹くリコーダー 作家としても活躍する歌人・東直子のデビュー歌集。独特の世界観が広がる 347 首を収録する。花山周子による解説、川上弘美との対談も掲載。

毎日新聞 2021/06/12

2019:10./ 215p

978-4-480-43620-7

本体 ¥770〔税込〕



Day to Day(tree)

講談社 編

講談社

コロナ禍に集った小説家 100 人が綴る、2020 年 4 月 1 日以降の日本。掌編・エッセイを日付順に収録する。愛蔵版「Day to Day」と漫画集「MANGA Day to Day」と同時刊行。

毎日新聞 2021/06/12

2021:3./ 411p

978-4-06-521842-6

本体 ¥1,760〔税込〕



美しい和菓子の図鑑

二見書房

12 ヶ月の行事、神社や寺の御利益、古典文学、歴史上の人物や文豪にまつわる和菓子を、イラストや写真とともに 350 個紹介。和菓子に秘められた謎と人々の思いを解き明かす。和菓子の基礎知識も収録。

毎日新聞 2021/06/12

2021:5./ 166p

978-4-576-21063-6

本体 ¥1,899〔税込〕



中世は核家族だったのか～民衆の暮らしと生き方～(歴史文化ライブラリー 524)

西谷 正浩 著

吉川弘文館

新しい家族システムとして日本的な家制度が出現した中世。親子・兄弟が別居する家族システムで、人々はいかに暮らし生き抜いたか。様々な角度から家族構造の大変動の背景を探り、民衆生活の変化に迫る。

毎日新聞 2021/06/12

2021:6./ 6p,215p

978-4-642-05924-4

本体 ¥1,870〔税込〕



9 条の戦後史(ちくま新書 1569)

加藤 典洋 著

筑摩書房

憲法 9 条をどのように使うことがいま必要なのか。日米安保条約締結から、冷戦終結後、対米従属を深め混迷にいたる現在まで。戦後史の深層を丹念に掘り起こし、ゼロからの問いを提起する。「9 条入門」の続篇。

毎日新聞 2021/06/12

2021:5./ 555p

978-4-480-07402-7

本体 ¥1,430〔税込〕



メッセージ～トーベ・ヤンソン自選短篇集～

トーベ・ヤンソン、久山 葉子 著

フィルムアート社

ムーミンに魅せられた大人たちへ贈る。人を、自然を、芸術を愛し、あるがままに生きたトーベ・ヤンソンが人生最後に刊行した自選短篇集。恋人、夫婦、親子、友人同士…。“二人”に光を当てた作品を多数収録。

毎日新聞 2021/06/12

2021:3./ 493p

978-4-8459-2011-2

本体 ¥3,080〔税込〕





多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。

Jam 著

サンクチュアリ・パブリッシング (サンクチュアリ出版)

人の何気ない言葉に傷ついていたり、友人に「多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。」と言われて、悩むのをやめちゃった! 嫌な気持ちを引きずらないための考え方のコツを、ネコの4コママンガとともに紹介します。

2018.7./ 173p

978-4-8014-0053-5

本体 ¥1,210 [税込]



毎日新聞 2021/06/12



蝶の眠る場所

水野 梓 著

ポプラ社

真犯人は別にいる、と言いつつ絞首台を登った男。時はめぐり、小学生が学校の屋上から落ちて亡くなった。取材をすすめるテレビ局の女性記者は、少年の母親が冤罪が疑われる事件の加害者として極刑となった男の娘と知る…。

2021.4./ 428p

978-4-591-17002-1

本体 ¥1,980 [税込]



毎日新聞 2021/06/12



リニア中央新幹線をめぐって～原発事故とコロナ・パンデミックから見直す～

山本義隆 著

みすず書房

既得権益と前世紀的な成長への醒めない夢が、時代錯誤の巨大プロジェクトの温床となっている。福島原発事故/コロナ禍以後の社会の持続可能性の観点から、リニア新幹線計画の不合理と、それが体现する国策の非道を指摘する。

2021.4./ 177p,8p

978-4-622-08996-4

本体 ¥1,980 [税込]



毎日新聞 2021/06/12



現役引退～プロ野球名選手「最後の1年」～(新潮新書 907)

中溝 康隆 著

新潮社

完全燃焼した者、己の美学を貫いた者、ケガに泣かされ続けた者、海外に活路を見出した者…。球界を華やかに彩った名選手24人の「最後の1年」をプレイバック。『ベースボールキング』連載に書き下ろしを加えて改題。

2021.5./ 254p

978-4-10-610907-2

本体 ¥880 [税込]



毎日新聞 2021/06/12、日本経済新聞 2021/06/26



新しい手洗いのために

TOLTA 著

素粒社

ヴァーバル・アート・ユニット「TOLTA」メンバー各自が「手を洗う」ことについて思いをめぐらし、記述した言葉をあつめて協同制作した叙事詩。詩篇「さらに新しい手洗いのために」も収録。

2021.4./ 133p

978-4-910413-03-7

本体 ¥1,760 [税込]



毎日新聞 2021/06/12、毎日新聞 2021/06/12



佐藤鬼房の百句～成熟に抗して～

渡辺 誠一郎 著

ふらんす堂

むささびの夜がたりの父わが胸に 翅を欠き大いなる死を急ぐ蟻 成熟の誘いに抗するように、必死に「蒼樹」、あるいは修羅にならんとした佐藤鬼房の句を100句厳選して収録。初句索引付き。

2021.4./ 203p

978-4-7814-1371-6

本体 ¥1,650 [税込]



毎日新聞 2021/06/15



絶対安全剃刀～高野文子作品集～(メルヘンの本)

高野文子 著

白泉社

毎日新聞 2021/06/19

1982:1./ 198p

978-4-592-76016-0

本体 ¥1,210〔税込〕



教養としてのグローバル経済～新しい時代を生き抜く力を培うために～

齊藤 誠 著

有斐閣

商業高校向けの社会科科目「グローバル経済」の教科書。豊かな未来のためにグローバル化と向き合うことの意義を、図表や写真、イラストを豊富に交えながら、やさしく丁寧に解説する。

2021:5./ 10p,261p

978-4-641-16582-3

本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/06/19



社会思想としてのクラシック音楽(新潮選書)

猪木 武徳 著

新潮社

バッハが「薄給の公務員」に甘んじたのはなぜか？ モーツァルトはなぜ「革新的な名曲」を連発できたか？ 音楽と政治経済の深い結びつきを、社会科学の視点で描く。『考える人』連載に加筆修正。

2021:5./ 291p,10p

978-4-10-603867-9

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/06/19



二人旅 上海からパリへ～金子光晴・森三千代の海外体験と異郷文学～(関西学院大学研究叢書 第224編)

趙?怡 著

関西学院大学出版会

詩人金子光晴と妻の森三千代。ふたりの DNA の二重らせんのような生き方と交流、そこから紡ぎだされた作品群。遺族や関係者の協力により未発表作品と新事実を発掘し、数奇な作家夫婦の関係を考察する。

2021:4./ 16p,574p

978-4-86283-319-8

本体 ¥6,380〔税込〕



毎日新聞 2021/06/19



自由原理～来るべき福祉国家の理念～

橋本 努 著

岩波書店

自由はいかに人びとの善き生をもたらすのか。福祉国家の様々な思想体系を整理し、「ケイパビリティ」「自生的な善き生」など 3 つの軸から、善き生を促す福祉国家へと社会を導くための新しい自由原理を描く。

2021:2./

10p,304p,20p

978-4-00-061453-5

本体 ¥5,280〔税込〕



毎日新聞 2021/06/19



鉄幹晶子全集<別巻 8> 拾遺篇-書誌年譜

逸見 久美 編

勉誠出版

明治 17 年(1884)?昭和 17 年(1942)の与謝野鉄幹・晶子の著作を編年体で掲載した書誌。発行年月日、タイトル、ジャンル、署名、掲載誌紙、巻号、出版社(単行本のみ)の順に記す。年譜も収録。

2021:5./ 327p

978-4-585-01093-7

本体 ¥9,900〔税込〕



毎日新聞 2021/06/19



京大おどろきのウイルス学講義(PHP 新書 1257)

宮沢 孝幸 著

PHP研究所

「次」に備えるべきウイルスは? 哺乳類の進化を生んだ 1 億年以上前のウイルスとは? 変異すれば人間社会を脅かす可能性がある動物由来のウイルスを紹介し、レトロウイルスの驚くべき力についても解説する。

2021.4./ 222p

978-4-569-84934-8

本体 ¥1,023〔税込〕



毎日新聞 2021/06/19



道連れ彦輔居直り道中

逢坂 剛 著

毎日新聞出版

時は文政 10 年の春。素性も分からぬ美少女の道連れで中山道を行く彦輔たちに、数々の難関が襲う。敵の真の狙いとは? 江戸の旅情あふれる時代小説。カラー口絵も掲載。『毎日新聞』日曜くらぶ連載を単行本化。

2021.3./ 497p 図版 9

枚

978-4-620-10851-3

本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/06/19



戦前尖端語辞典

平山 亜佐子／山田 参助 著

左右社

イージー・マーク、コンパル、ゲシュペンシュテル、客本主義、ありのすさび組…。大正 8 年から昭和 15 年までに発行された流行語辞典から 285 語を採録し、当時の辞典の語釈、著者による解説、用例を掲載する。

2021.1./ 207p

978-4-86528-011-1

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/06/19



その落とし物は誰かの形見かもしれない

せきしろ 著

集英社

軍手、靴底、正月飾り、おにぎり、買い物メモ、たこと書かれた石…。奇才せきしろが綴る、路上で本当に見つけた落とし物をめぐる 50 の妄想エッセイ。ウェブメディア『よみタイ』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021.4./ 157p

978-4-08-788057-1

本体 ¥1,430〔税込〕



毎日新聞 2021/06/19



女たちのポリティクス～台頭する世界の女性政治家たち～(幻冬舎新書 ふ-21-1)

ブレイディ みかこ 著

幻冬舎

ポリティクスという究極の「男社会」で、各国の女性指導者たちはどのように闘い、上り詰めていったのか。その政治的手腕を、激動の世界情勢と共に解き明かす。大幅に遅れる日本の問題にも言及する。『小説幻冬』掲載を書籍化。

2021.5./ 262p

978-4-344-98623-7

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/06/19



日本人なら知っておきたい日本文学～ヤマトタケルから兼好まで、人物で読む古典～

蛇蔵、海野 風子 著

幻冬舎

清少納言は昼間イチャつくブサイクカップルにむかついていた!? 藤原道長は女性を味方につけて出世した!? 紫式部は頭のよさを隠すのに必死だった!? 名前だけ知ってるあの人が大好きになる教養コミック。

2011.8./ 118p

978-4-344-02037-5

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/06/26



菌の声を聴け～タルマーリーのクレイジーで豊かな実践と提案～

渡邊格・麻里子 著

ミシマ社

パンとビールの源泉をとことん探って見えた、モノ作りに欠かせないもの。それは地域で循環する環境と経済、そして技術と機械だった。菌に導かれ、原理主義的な息苦しさを脱し、未来への手ごたえをつかんだ記録。

2021.5./ 255p

978-4-909394-51-4

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/06/26



小林秀雄の政治学(文春新書 1306)

中野 剛志 著

文藝春秋

とことん文学的に思われた小林秀雄に、政治への鋭い洞察があまた潜んでいた! 小林が政治というものをどう見ていたかを探り、彼の作品を政治という観点から解釈し直す。「文芸評論の巨人」像を一新する驚きの書。

2021.3./ 285p

978-4-16-661306-9

本体 ¥1,045〔税込〕



毎日新聞 2021/06/26



「低度」外国人材～移民焼き畑国家、日本～

安田 峰俊 著

KADOKAWA

学歴・年収が低く、日本語はろくに喋れず専門知識もない、非熟練労働に従事している「低度」外国人材。3年に亘り、中国、ベトナム、日本各地を回り、絶対的な弱者でも敵でもない、彼らの生身の姿に迫ったディープリポ。

2021.3./ 260p

978-4-04-106968-4

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/06/26



英語の歴史から考える英文法の「なぜ」<2>

朝尾幸次郎 著

大修館書店

knowned も know の過去形だった? 英語の歴史をたどれば、現代英語の「なぜ」の起源が見えてくる。アメリカの小説や映画から用例を取り上げ、英文法の謎を解説する。事項・語句索引のほか、作品名の索引も収録。

2021.4./ 9p,197p

978-4-469-24646-9

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/06/26



草のみずみずしさ～感情と自然の文化史～

アラン・コルバン 著

藤原書店

「草」という存在は、神聖性、社会的地位、ノスタルジー、快楽、官能、そして「死」に至るまで、西洋文化の諸側面に独特の陰影をもたらす表象の核となってきた。「草」をめぐる感情・欲求の歴史を“感性の歴史家”が綴る。

2021.5./ 250p

978-4-86578-315-5

本体 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2021/06/26



石原慎太郎・大江健三郎(中公文庫 え 3-3)

江藤 淳 著

中央公論新社

1950年代半ばの鮮烈デビューから“怒れる若者たち”の時期を経て、それぞれの1968年へ。同世代の批評家・江藤淳が盟友・石原慎太郎と好敵手・大江健三郎に向き合い、その文学と人間像を論じた批評・エッセイを集成。

2021.5./ 289p

978-4-12-207063-9

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/06/26



伊能忠敬の日本地図(河出文庫 わ9-1)

渡辺 一郎 著

河出書房新社

どのように測量され、地図はいかに作られたのか。その後、いかに多くの複製図が作られ、また散逸していったのか。足かけ 17 年に及ぶ測量の旅と、その地図の内容を詳しく説明する「伊能図」入門。伊能忠敬の生い立ちも紹介。

2021:5./ 285p

978-4-309-41812-4

本体 ¥1,089〔税込〕



毎日新聞 2021/06/26



モダン語の世界へ〜流行語で探る近現代〜(岩波新書 新赤版 1875)

山室 信一 著

岩波書店

1910?30 年代、モガ・モボが登場した日本では、新奇な言葉と文化が奔流のようにあふれ出た。博覧強記で知られる歴史学者が、当時の流行語を軸に、人々の思想や風俗、日本社会の光と影を活写する。モダン語辞典一覧付き。

2021:4./

14p,329p,37p

978-4-00-431875-0

本体 ¥1,144〔税込〕



毎日新聞 2021/06/26



鶴屋南北未刊作品集<第1巻> 勝俵蔵篇

古井戸 秀夫 編

白水社

鶴屋南北の貴重な未刊行作品を第一人者が生き生きと蘇らせる。第1巻は、「江の島奉納見台」「壮平家物語」「春商恋山崎」「鳴響御未刻太鼓」など南北襲名以前に名乗っていた勝俵蔵の作品を収録。ほか番付影印、解説等も掲載。

2021:6./ 516p,2p

978-4-560-09840-0

本体 ¥28,600〔税込〕



毎日新聞 2021/06/26